公表日　　：2014年4月24日
投資家説明会：2014年4月25日

2013年度 決算説明会資料

財務責任者
見浪　直博

※本資料に含まれる数値は各事業の業績を分かりやすく説明するために使用しており、
　財務諸表の数値と異なる場合があります。
※各指標の注記は、slide59をご覧下さい。

当資料取扱上の注意点

将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予期しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

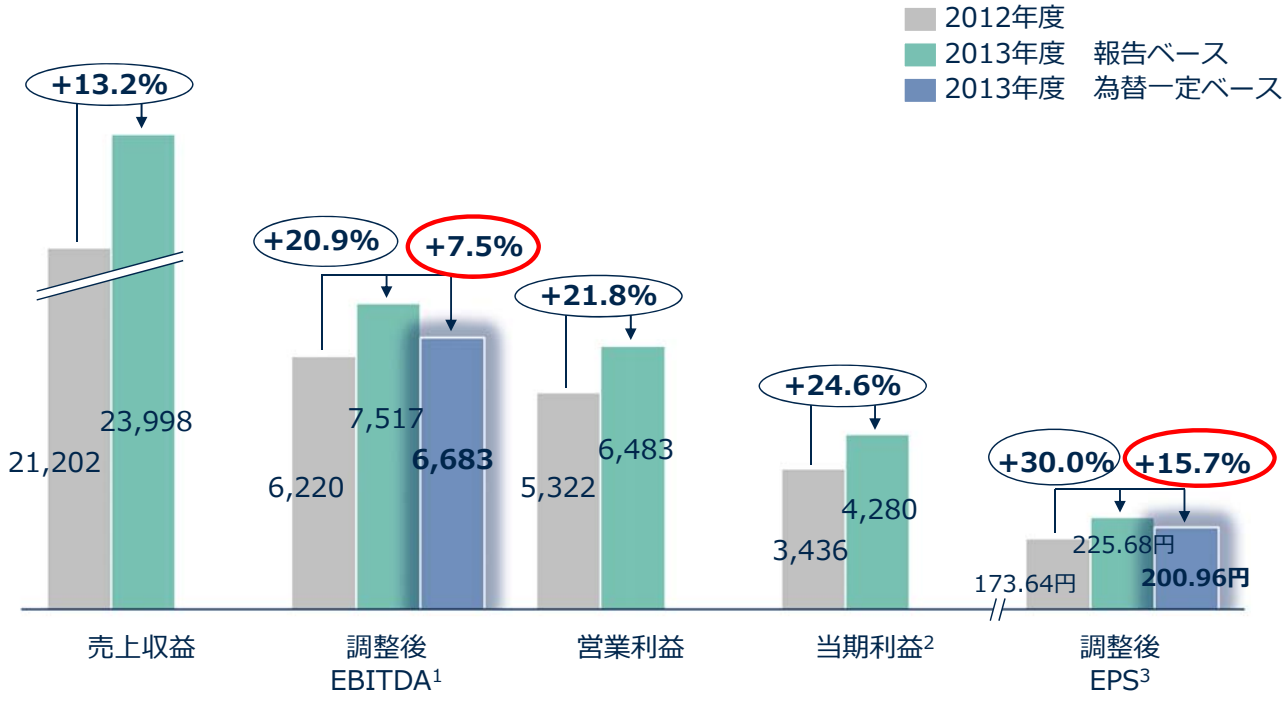
（1） 喫煙に関する健康上の懸念の増大
（2） たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
（3） 国内外の訴訟の動向
（4） 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
（5） 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
（6） 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化及び需要の減少
（7） 買収やビジネスの多角化に伴う影響
（8） 国内外の経済状況
（9） 為替変動及び原材料費の変動
（10） 自然災害及び不測の事態等

2013年度　全社実績

全社実績:
厳しい事業環境の中、コミットメントを達成し、過去最高益をマーク

主要指標実績
(2012年度　vs　2013年度)

(億円,円,%)



2013年度　事業別実績

海外たばこ事業(実績)：
トップライン成長をドライバーに二桁利益成長を達成

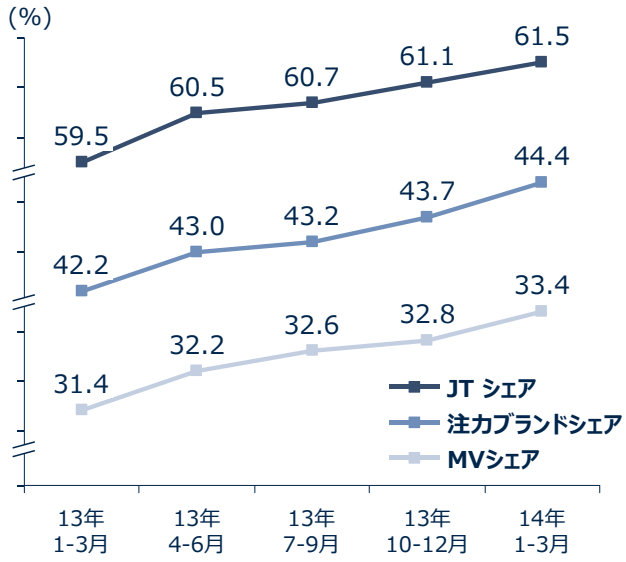
(億本,百万US$,%)

	2012年	2013年	対前年増減率
総販売数量[4]	4,365	4,164	-4.6%
GFB販売数量	2,688	2,666	-0.8%
為替一定ベース[5]			
自社たばこ製品売上収益[6]	11,655	12,362	+6.1%
調整後EBITDA[1]	4,145	4,614	+11.3%
報告ベース			
自社たばこ製品売上収益[6]	11,817	12,273	+3.9%
調整後EBITDA[1]	4,300	4,623	+7.5%
円ベース(億円)			
自社たばこ製品売上収益[6]	9,431	12,007	+27.3%
調整後EBITDA[1]	3,432	4,516	+31.6%

国内たばこ事業：
シェア伸長、消費税増税前の仮需をほぼ想定どおり取込み利益成長達成

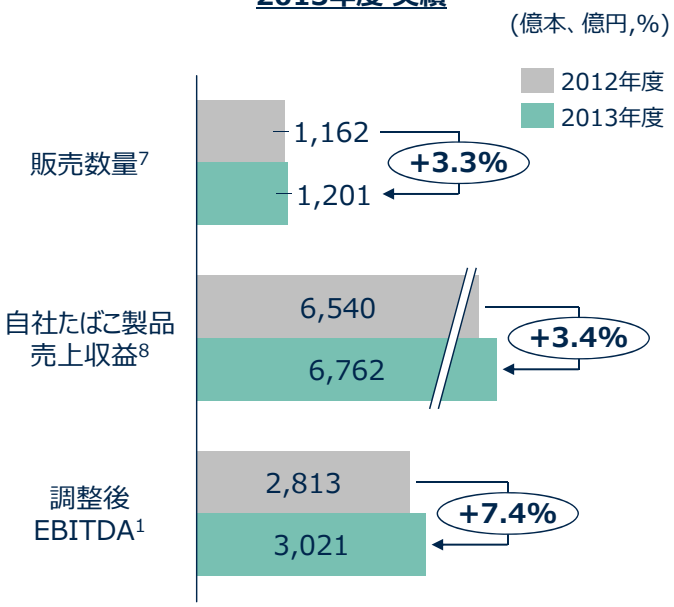
- MEVIUSを中心とした注力ブランド強化によりシェア伸長を達成
- 2014年4月消費税増税前の仮需は0.4ヶ月分程度

JT/注力ブランド*/MEVIUS　シェア四半期別推移



＊注力ブランド：MEVIUS, Seven Stars, Pianissimo
Source: TIOJ,JT内部データ

2013年度 実績



医薬事業:
既導出品の開発進展、販売拡大による収益改善が継続

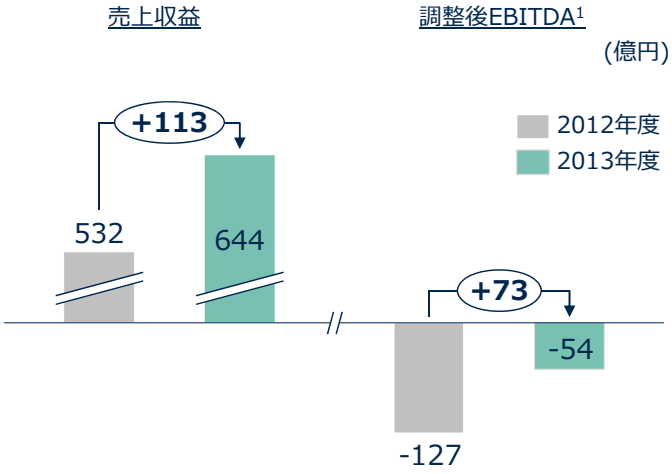
売上収益

JT
- 既導出品の開発進展に伴う一時金収入及び販売拡大によるロイヤリティ収入増

鳥居薬品
- レミッチカプセル、ツルバダ配合錠の伸長

調整後EBITDA
- 売上収益増により、73億円の改善

【2013年度　実績】



開発の状況

JT
- 高リン血症治療剤「リオナ錠250mg」（JTT-751） 承認取得、5月12日発売予定
- 2型糖尿病治療薬「JTT-251」新規臨床入り(海外)

鳥居薬品
- スギ花粉症を対象とした減感作療法薬「シダトレン スギ花粉舌下液」（TO-194SL） 承認取得

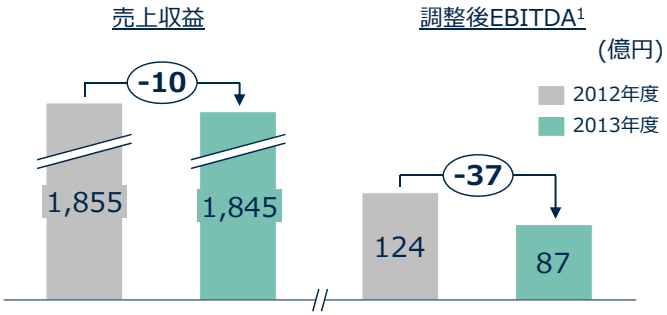
飲料事業・加工食品事業：
飲料事業は自社販売数量増加、加工食品はステープルの伸長により増収・増益

飲料事業

売上収益
- 桃の天然水が伸長し、自社製品販売数量は増加
- 自販機販路における減収影響

調整後EBITDA
- 減収影響に加え、質の高い自販機オペレーションの更なる強化やブランド力強化に向けた費用の増加等

【2013年度　実績】

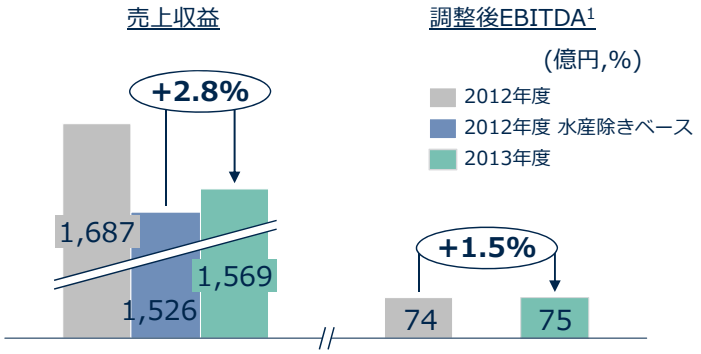


加工食品事業

売上収益
- ステープルの伸長により、水産事業除きのトップラインは成長

調整後EBITDA
- 円安影響によるコスト増があるものの、ステープル成長により増益

【2013年度　実績】



9

2014年　見込

2014年見込と比較参考数値:
1-12月Like for Likeベースの見込でのガイダンス

■ 2014年度見込　財務報告数値
- ◆ 国内事業: 2014年　4月-12月（9カ月）
- ◆ 海外事業: 2014年　1月-12月（12ヶ月）



■ 比較参考数値（Like for Likeベース）
- ◆ 2013年: 2013年1月-12月
- ◆ 2014年: 2014年1月-12月



新利益指標：
利益指標を調整後営業利益に変更

現行　→　2014年以降

調整後EBITDA　→　調整後営業利益

狙い
- ◆ 事業投資及びそのリターンをより適切に管理する
- ◆ 競合他社との比較をより容易にする

算出方法

調整後営業利益 ＝ 営業利益 ＋ 買収に伴い生じた無形資産に係る償却費
＋ 調整項目（収益及び費用)*

*調整項目（収益及び費用) ＝ のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等

全社見込（1-12月 Like for Like ベース）：
為替一定ベース調整後営業利益の6.0%成長を目指す

(億円,%)

	2013年	2014年	対前年増減額	対前年増減率
売上収益	23,722	24,300	578	+2.4%
調整後営業利益[9]	6,130	6,230	100	+1.6%
営業利益	6,433	5,540	-893	-13.9%
当期利益[2]	4,436	3,700	-736	-16.6%
為替一定ベース				
調整後営業利益[9]	6,130	6,500	370	+6.0%

13

全社見込:
財務報告ベース

(億円)

	2013年度	2014年度
売上収益	23,998	21,500
調整後営業利益[9]	6,418	5,520
営業利益	6,483	4,820
当期利益[2]	4,280	3,440
FCF	2,126	3,640

14

海外たばこ事業(見込):
為替一定ベース調整後営業利益の二桁成長をコミット

(億本,百万US$,%)

	2013年	2014年	対前年増減率
総販売数量[4]	4,175*	4,050	-3.0%
GFB販売数量	2,675*	2,630	-1.7%
為替一定ベース			
自社たばこ製品売上収益[6]	12,273	12,800	+4.3%
調整後営業利益[9]	4,206	4,630	+10.1%
報告ベース			
自社たばこ製品売上収益[6]	12,273	12,400	+1.0%
調整後営業利益[9]	4,206	4,230	+0.6%
円ベース(億円)			
自社たばこ製品売上収益[6]	12,007	12,470	+3.9%
調整後営業利益[9]	4,108	4,250	+3.4%

*Fine cutカテゴリーの消費動向について調査した結果に基づき、High Volume Tobacco製品を紙巻きたばこ相当に換算する際の換算レートを変更。2013年度数値についても同換算レートを遡及適用しております。

15

JT International (1-3月期速報):
Continued revenue and double-digit earnings growth

(億本,百万US$,%)

	2013年	2014年	対前年増減率
総販売数量[4]	928*	877	-5.4%
GFB販売数量	585*	553	-5.5%
為替一定ベース			
自社たばこ製品売上収益[6]	2,729	2,868	+5.1%
調整後営業利益[9]	976	1,117	+14.5%
報告ベース			
自社たばこ製品売上収益[6]	2,729	2,761	+1.2%
調整後営業利益[9]	976	1,023	+4.8%

*Fine cutカテゴリーの消費動向について調査した結果に基づき、High Volume Tobacco製品を紙巻きたばこ相当に換算する際の換算レートを変更。2013年度数値についても同換算レートを遡及適用しております。

16

国内たばこ事業(見込 1-12月 Like for Like ベース):
数量減少影響をお客様のリテンションに向けた更なるブランドエクイティの強化、コスト削減により補い、利益水準維持を目指す

- 2014年の事業環境前提
  - 総需要減少：▲3%～▲4%（増税・定価改定後の需要の落込み影響を含む）

- MEVIUSのリテンション施策を中心としたブランドエクイティ強化の取組み
- 継続的なコスト削減の実施

(億本、億円、%)

	2013年	**2014年**	**対前年増減率**
販売数量[7]	1,165	**1,125**	**-3.5%**
自社たばこ製品売上収益[8]	6,563	**6,460**	**-1.6%**
調整後営業利益[9]	2,346	**2,345**	**-**

17

医薬事業(見込 1-12月 Like for Like ベース):
既導出品の販売拡大にともない、増収・利益改善を見込む

(億円)

	2013年	**2014年**	**対前年増減額**
売上収益	582	**630**	**+48**
調整後営業利益[9]	-137	**-130**	**+7**



18

飲料事業・加工食品事業(見込 1-12月 Like for Like ベース):
飲料は増収、加工食品はステープル注力により増収・増益を見込む

飲料事業

(億円)

	2013年	**2014年**	**対前年増減額**
売上収益	1,838	**1,880**	**+42**
調整後営業利益[9]	-21	**-15**	**+6**

加工食品事業

(億円)

	2013年	**2014年**	**対前年増減額**
売上収益	1,572	**1,650**	**+78**
調整後営業利益[9]	6	**30**	**+24**

4Sモデルの追求と持続的な利益成長の実現をめざして

2014年　為替一定ベース
調整後営業利益
Mid to high single digit
利益成長

一株当たり配当金
2013年度　**96円**
2014年度　**100円**

中長期に亘り為替一定ベース
調整後EPS平均成長率
High single digit

配当の方針
50%を下限とし
Global FMCGに比肩する水準

補足資料:経営計画2014

経営計画2014
たばこ事業(中長期目標と役割)

中長期目標と役割	■ JTグループ利益成長の中核且つ牽引役として、中長期に亘って年平均mid to high single digit　成長を目指す ✓ 国内：高い競争優位性を保持する利益創出の中核事業 ✓ 海外：利益成長の牽引役である、もう一つの中核事業

■ 質の高いトップライン成長を最優先
- ✓ 主要ブランドを中心としたブランドエクイティの更なる強化
- ✓ 主要市場におけるシェアの維持・拡大
- ✓ 収益基盤の地理的拡充
- ✓ 新製品カテゴリーの創出

■ 不断のコスト改善

経営計画2014
医薬事業(中長期目標と役割)

中長期目標と役割	■各製品の価値最大化と次世代戦略品の研究開発推進を通じ、収益基盤の更なる強化を目指す

- 新規上市製品の円滑な立ち上げおよび（既上市品含む）各製品の価値最大化
- 次世代戦略品の研究開発推進と最適タイミングでの導出

経営計画2014
飲料事業・加工食品事業(中長期目標と役割)

飲料事業

中長期目標と役割	■ 将来の成長に向けた事業基盤の強化により、グループへの利益貢献を目指す

- トップライン拡大による利益創出
- オペレート子会社における生産性の向上

加工食品事業

中長期目標と役割	■ 少なくとも業界平均に比肩する営業利益率を実現し、グループへの利益貢献を目指す

- 自社の独自技術とお客様ニーズを組み合わせ、ステープルを中心とした商品力を強化
- 原材料高騰影響及び円安影響の極小化

経営計画2014
経営資源配分の考え方と株主還元方針

■中長期の持続的な利益成長につながる事業投資を最優先

■加えて、グローバルFMCG業界における競争力ある株主還元を追求

事業投資・資本政策

- たばこ事業の成長投資を最重要視
- 医薬・飲料・加工食品事業は、将来の利益貢献につながる基盤強化に向けた投資に注力
- 事業環境の変化に機動的に対応し、事業投資を実施できる柔軟性を追求。一方で、新株発行に制約を受ける
- そのために、十分な資金調達余力の確保が必要。具体的には、
  - ✓ より強固な財務体質を確立
  - ✓ 金庫株は当面の間消却しない

株主還元の方針

- グローバルFMCG業界における競争力ある株主還元を追求
  - ➢ 配当性向は50%を下限とし、グローバルFMCGに比肩する水準
  - ➢ 調整後EPS成長率（為替一定）は、年平均high single digit成長を目指す
    - ✓ 事業成長による向上を基本とするが、目標達成を補完する手段として自社株買いも検討

25

(このスライドは空白です)

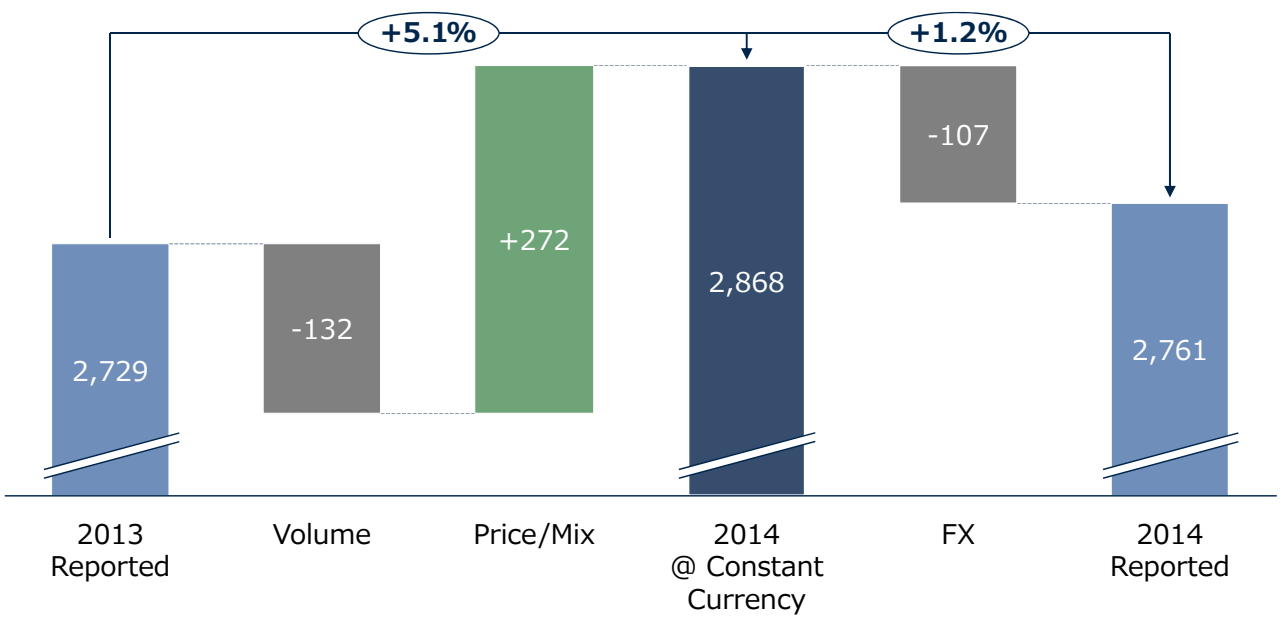
26

補足資料:JT International

JT International (1-3月期速報)
自社たばこ製品売上収益

自社たばこ製品売上収益[6]

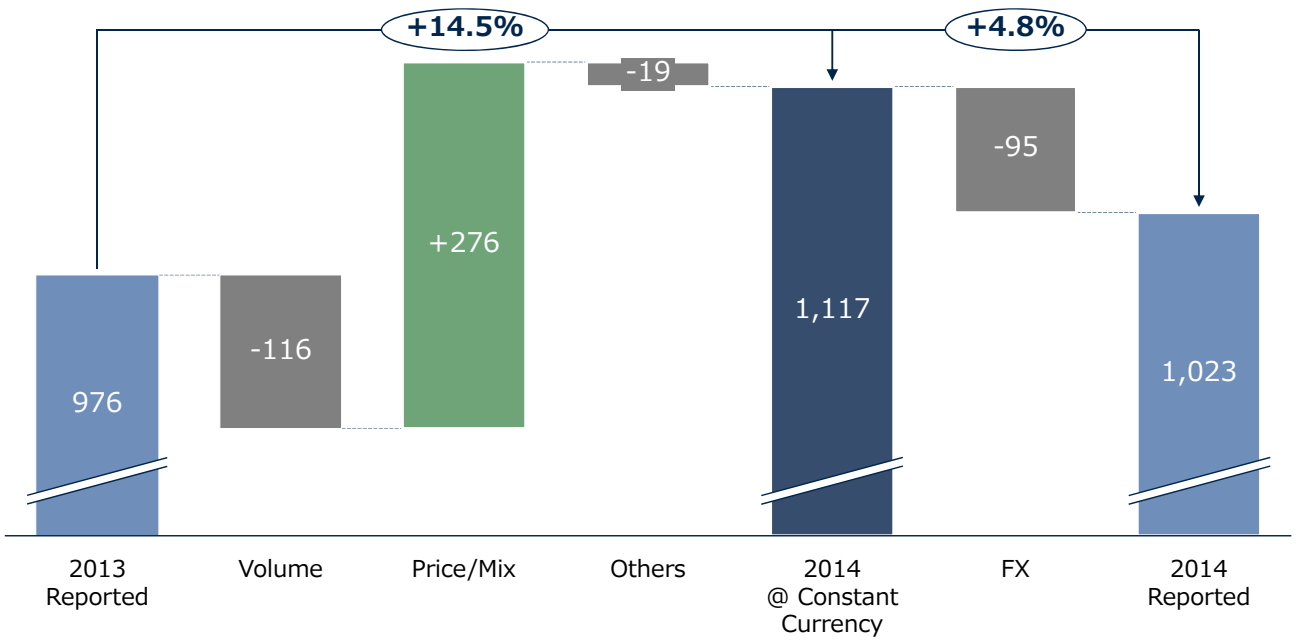
(百万US$)



JT International (1-3月期速報)
調整後営業利益

調整後営業利益[9]

(百万US$)



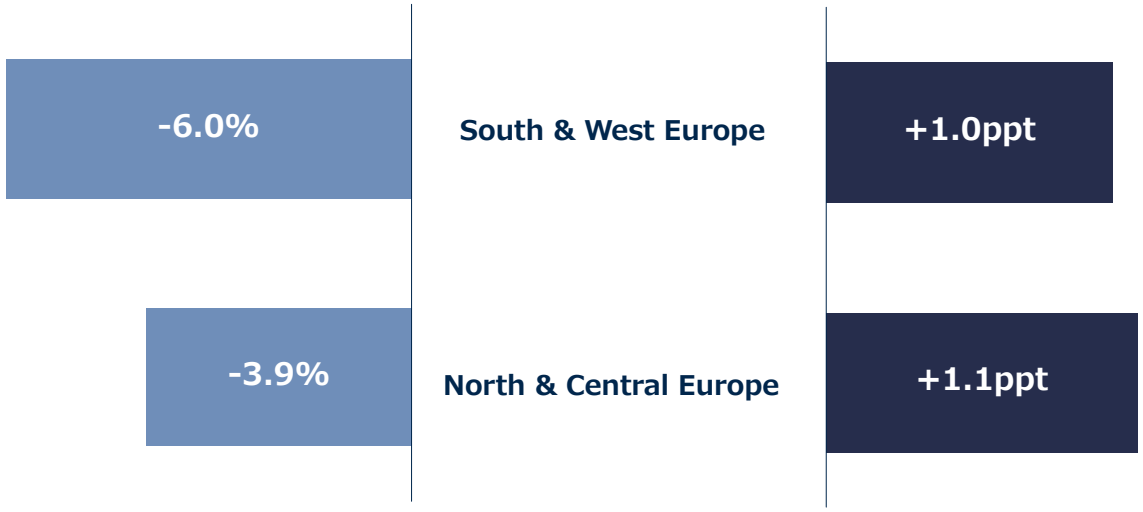
JT International
為替レート

	2013 1-3月	2014 1-3月	対前年
RUB/$	30.40	34.97	13.1%安
GBP/$	0.64	0.60	6.5%高
EUR/$	0.76	0.73	3.8%高
CHF/$	0.93	0.89	4.1%高
TWD/$	29.47	30.27	2.6%安
TRY/$	1.78	2.21	19.6%安
UAH/$	7.99	8.86	9.7%安
JPY/$	92.46	102.77	10.0%安

JT International (1-3月期速報)
S&WE、N&CEクラスター　総需要・シェア増減

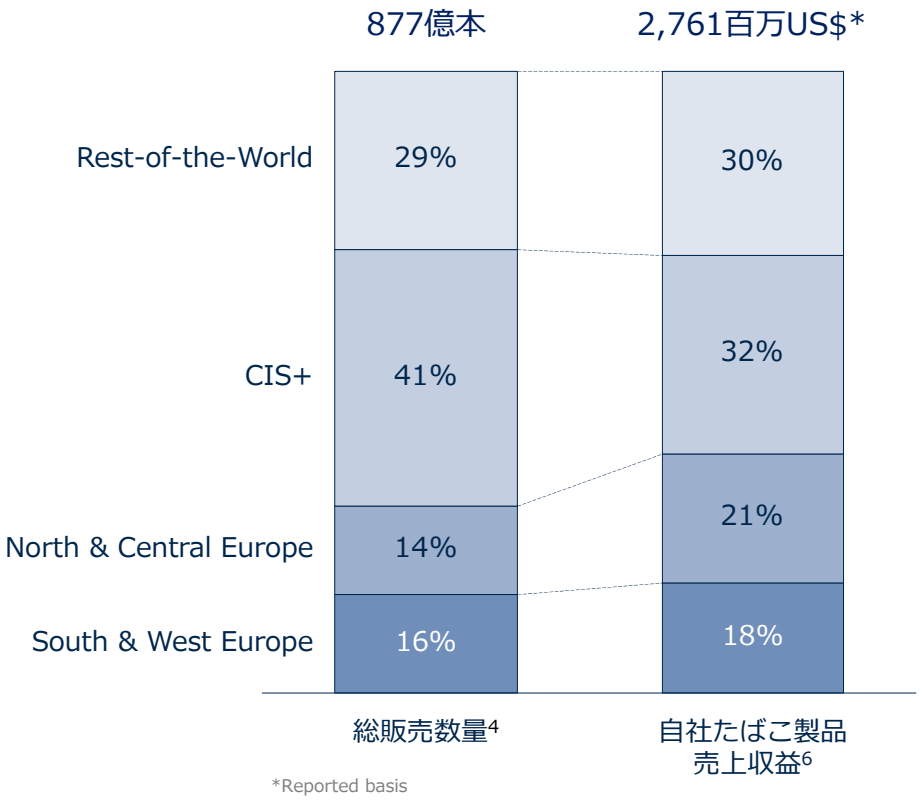
Industry size variance(%)
12month up to Feb 13 vs 12month up to Feb 14

Share of Market variance(%)
12 month average Feb 14



Source: JTI estimate

JT International (1-3月期速報)
4クラスター別構成比



*Reported basis

JT International (1-3月期速報)
総販売数量成長率(対前年同期)

	2014 1-3月
JTI	**-5.4%**
South & West Europe	**-5.9%**
France	-7.4%
Italy	-9.5%
Spain	-8.7%
Switzerland	-5.0%
North & Central Europe	**3.1%**
Austria	1.2%
Ireland	-3.1%
Poland	1.6%
Sweden	-0.4%
UK	-2.5%
CIS+	**-7.8%**
Kazakhstan	-16.3%
Romania	7.6%
Russia	-12.1%
Ukraine	-2.4%
Rest of the World	**-5.6%**
Canada	-9.2%
Malaysia	-6.6%
Taiwan	-11.5%
Turkey	-32.1%

総販売数量：水たばこ/製造受託を除き、Fine Cut/Cigar/Pipe/Snus込み

JT International (1-3月期速報)
GFB販売数量(対前年同期)

	2014 1-3月
JTI	**-5.5%**
South & West Europe	**-3.8%**
North & Central Europe	**8.3%**
CIS+	**-4.9%**
Rest of the World	**-13.6%**

(億本)	2014 1-3月
GFB販売数量	**553** (-5.5%)
Winston	**276** (-7.1%)
Camel	**88** (-3.7%)
MEVIUS	**40** (-8.1%)
B&H	**24** (+5.4%)
Silk Cut	**7** (-12.2%)
LD	**96** (-2.6%)
Sobranie	**5** (+7.1%)
Glamour	**16** (-10.2%)

(　)内は、対前年同期増減率

JT International (1-3月期速報)
主要市場シェア(12ヶ月移動平均)

	2013 3月	2014 3月	増減
France	18.4%	20.1%*	+1.7ppt
Italy	21.5%	21.5%*	-0.0ppt
Russia	36.3%	36.2%*	-0.1ppt
(GFB)	22.1%	23.4%*	+1.3ppt
Spain	20.1%	21.0%*	+0.8ppt
Taiwan	39.3%	39.2%	-0.1ppt
Turkey	26.3%	26.8%*	+0.4ppt
UK	39.8%	40.7%*	+0.9ppt

Source: IRI, Logista, Nielsen
注: シェア数値は四捨五入しています
*2014年２月時点12ヶ月移動平均データ

35

JT International (1-3月期速報)
主要市場シェア(3ヶ月移動平均)

	2013 1-3月	2013 4-6月	2013 7-9月	2013 10-12月	2014 1-3月
France	19.9%	19.9%	20.1%	20.3%	20.4%*
Italy	21.7%	21.9%	21.7%	21.2%	20.8%*
Russia	36.3%	36.2%	36.5%	36.2%	35.7%*
(GFB)	22.5%	23.1%	23.6%	23.7%	23.7%*
Spain	20.3%	21.1%	20.5%	21.6%	21.4%*
Taiwan	39.5%	40.0%	39.9%	38.3%	38.4%
Turkey	26.1%	26.8%	26.9%	26.9%	26.5%*
UK	40.3%	40.4%	40.9%	41.1%	40.6%*

Source: IRI, Logista, Nielsen
注: シェア数値は四捨五入しています
*2014年1-2月　２か月平均データ

36

JT International
増税・値上げ情報

	増税	値上げ
France	13年1月、7月[i)] 14年1月	13年7月 14年1月
Italy	-	-
Russia	13年1月 14年1月	13年6月、12月
Spain	13年1月、6月[i)]	13年1月、7月
Taiwan	-	13年7月, 9月-10月[ii)]
Turkey	13年1月、7月 14年1月	13年1月 14年1月
UK	13年3月 14年3月	13年3月、9月 14年3月

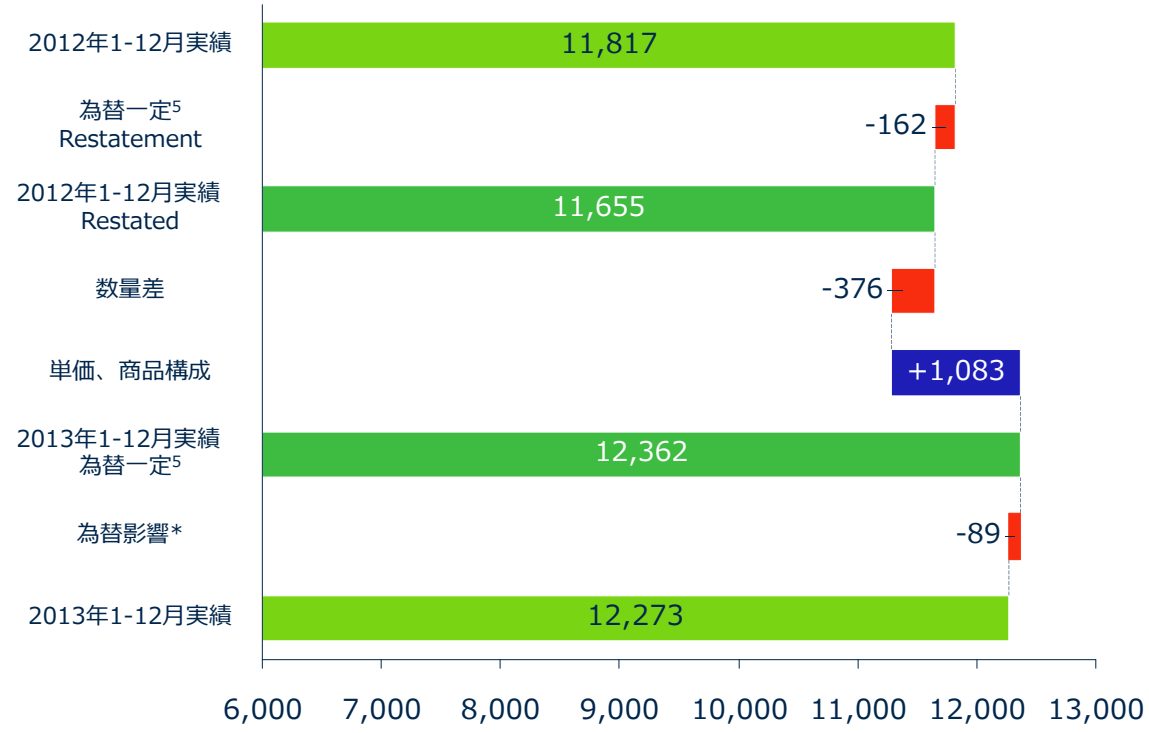
i)税制の変更
ii)各月一部銘柄

補足資料:2013年度実績

2013年度 実績

海外たばこ事業 自社たばこ製品売上収益[6]

（百万US$）

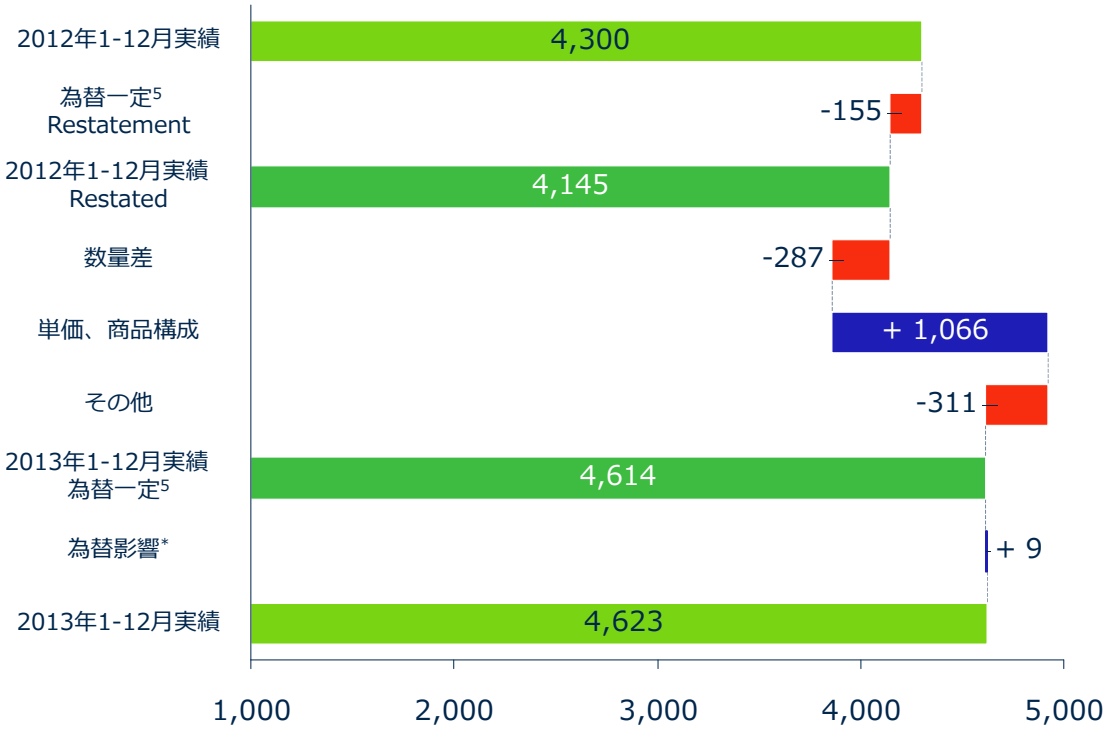


*為替影響=USドルと各現地通貨との間の為替影響

2013年度 実績

海外たばこ事業 調整後EBITDA[1]

（百万US$）

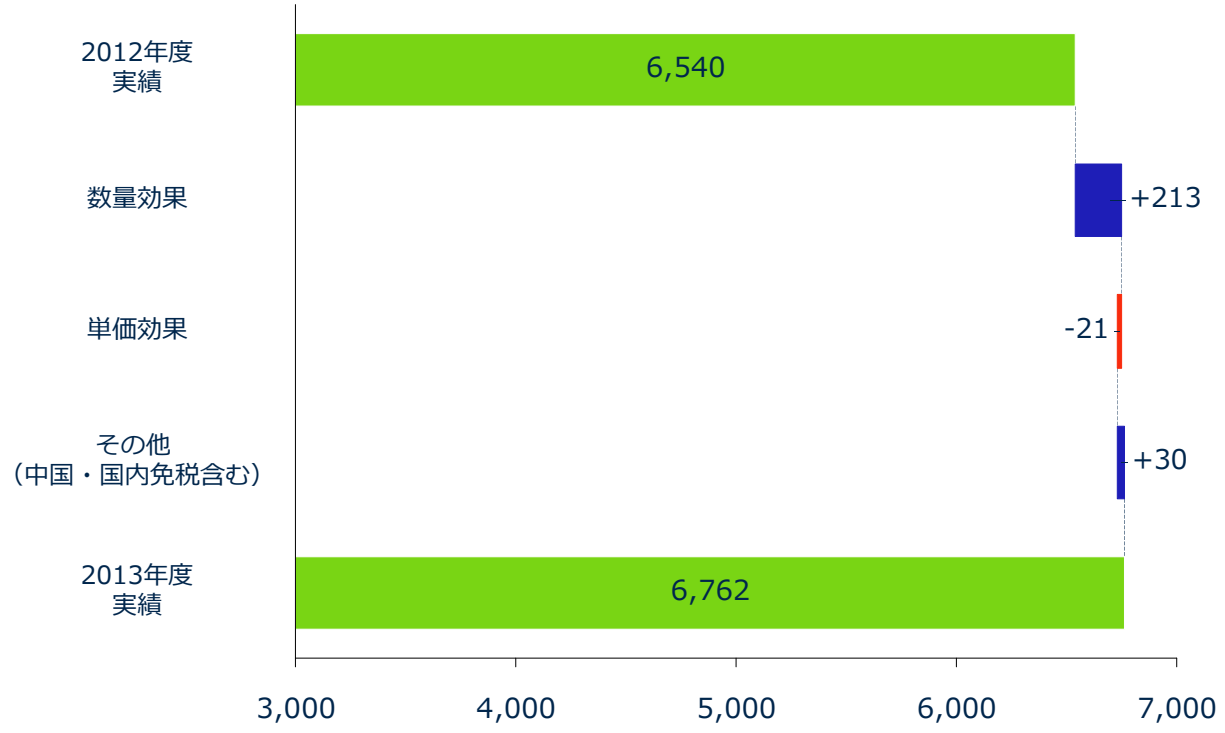


*為替影響=USドルと各現地通貨との間の為替影響

2013年度 実績

国内たばこ事業 自社たばこ製品売上収益[8]

（億円）

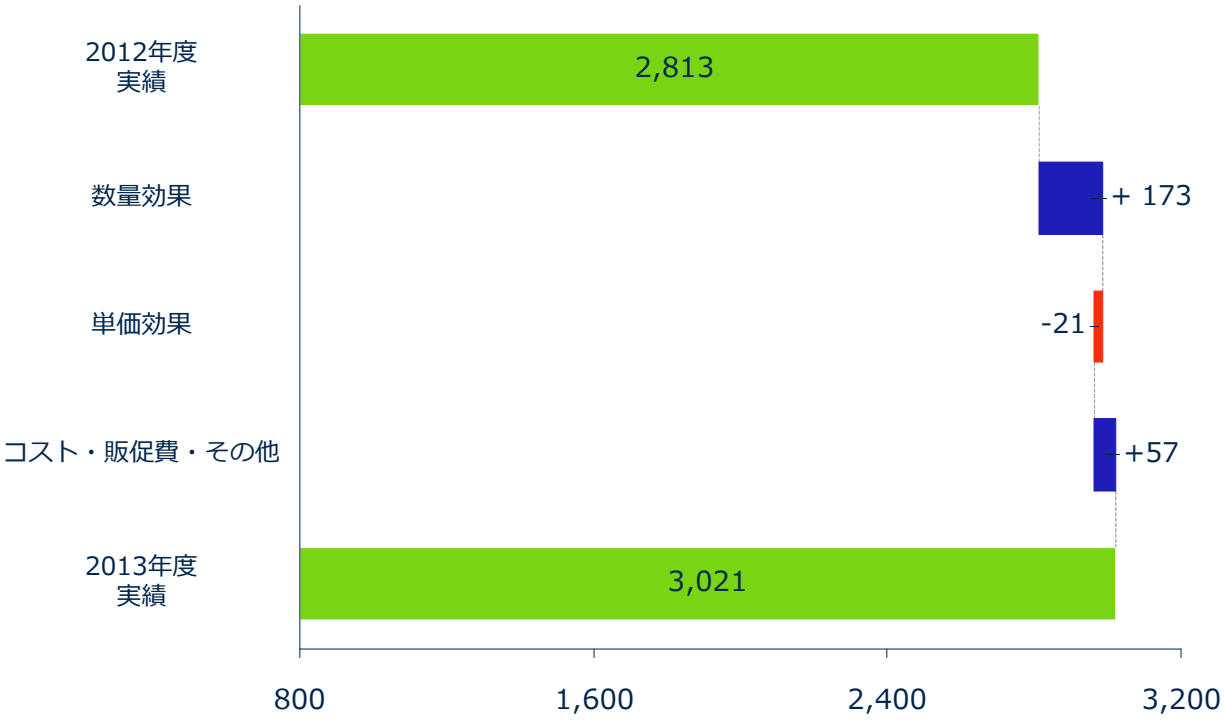


41

2013年度 実績

国内たばこ事業 調整後EBITDA[1]

（億円）

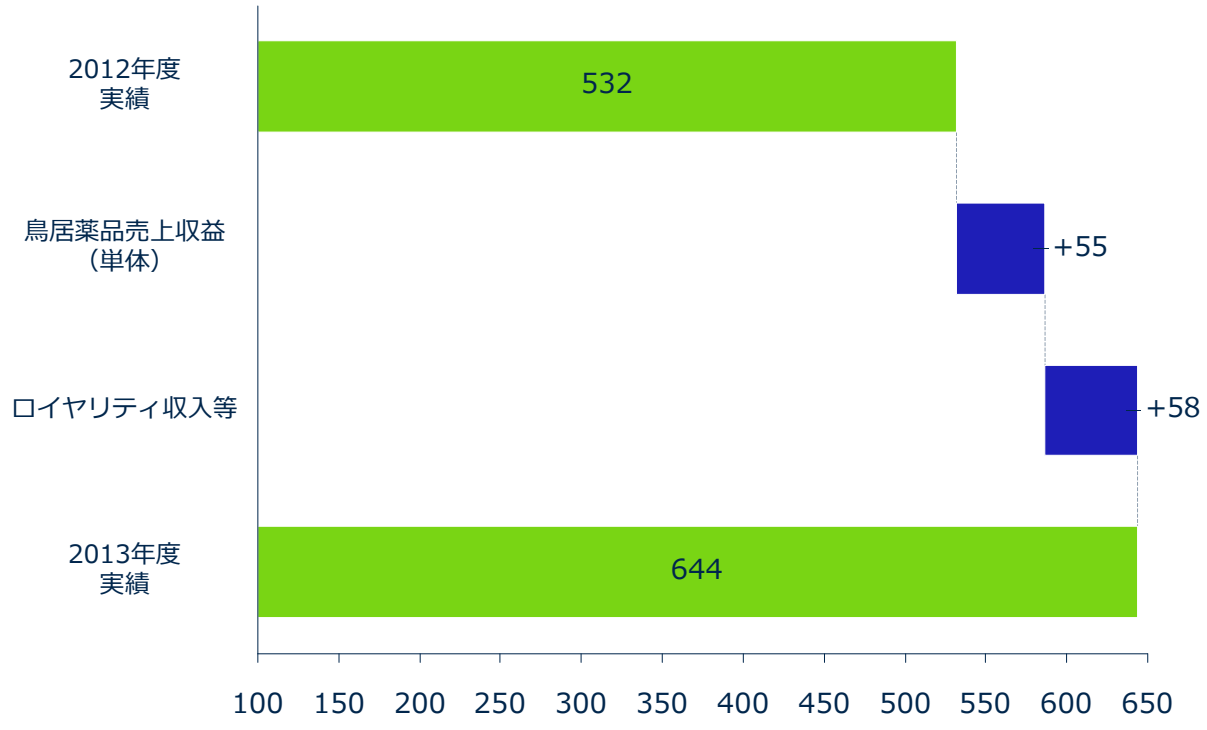


42

2013年度 実績

医薬事業　売上収益

（億円）

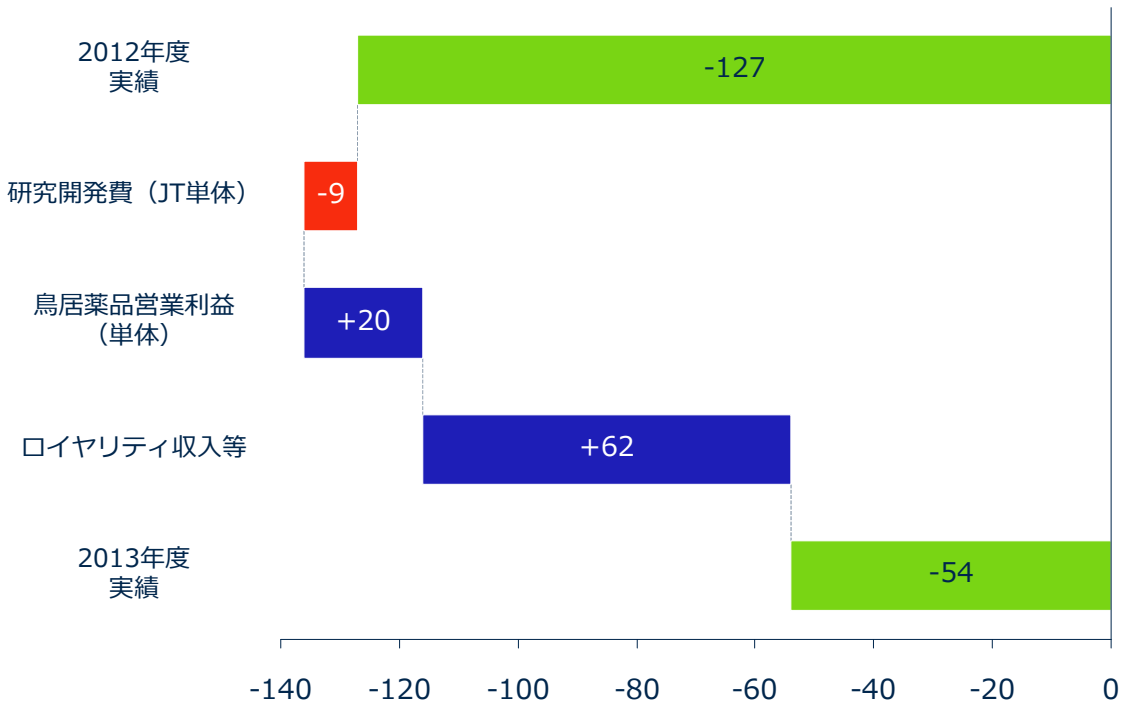


43

2013年度 実績

医薬事業　調整後EBITDA[1]

（億円）

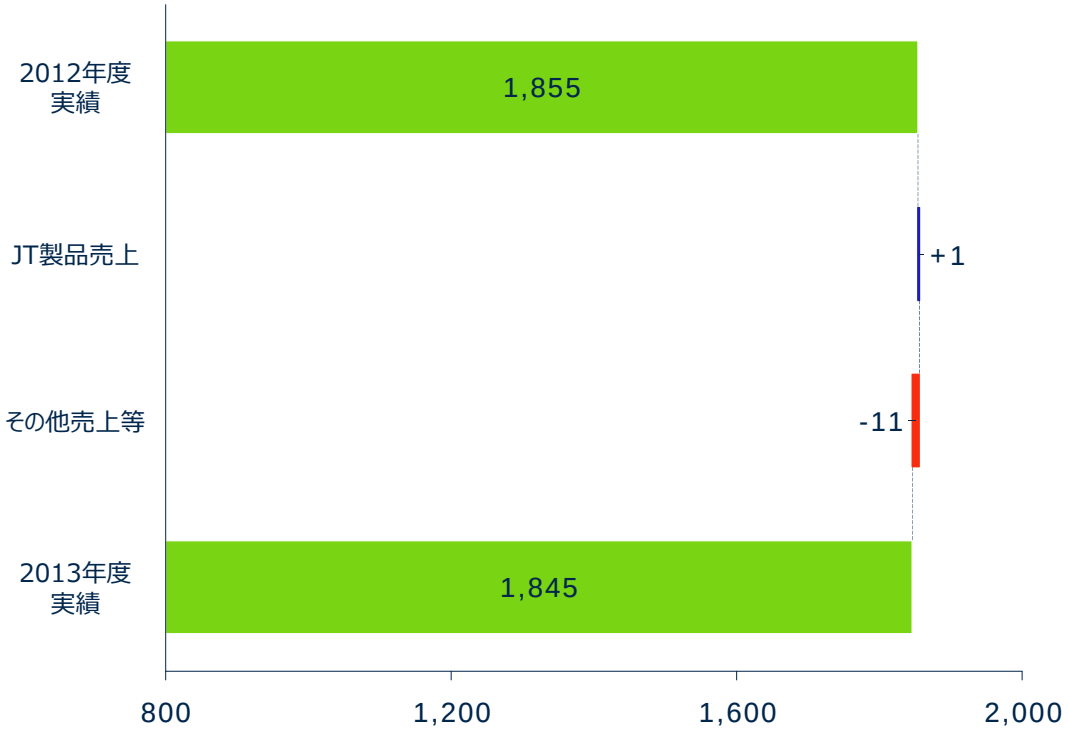


44

2013年度 実績

飲料事業　売上収益

（億円）

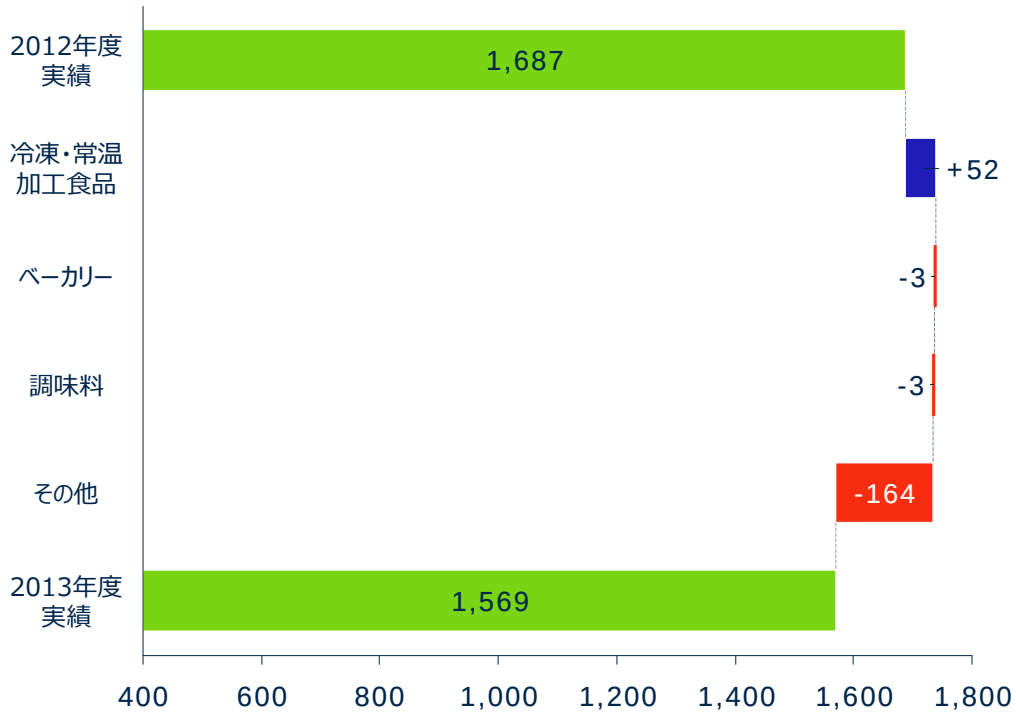


45

2013年度 実績

加工食品事業　売上収益

（億円）



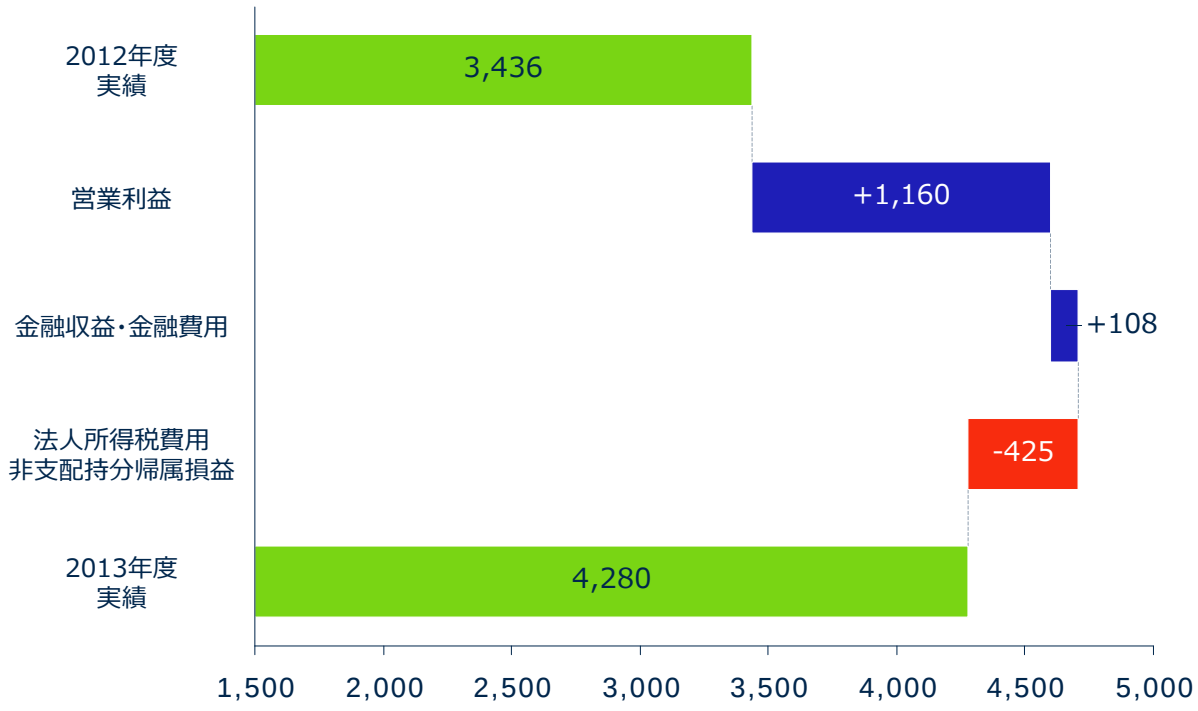
注）増減要因の「その他」に水産事業を含む

46

2013年度 実績

親会社の所有者に帰属する当期利益

（億円）



47

（このスライドは空白です）

48

2013年度末　連結財政状態計算書

資産の部　2013年3月末・2014年3月末比較



49

流動資産：+2,712億円

【現金及び現金同等物の増加】＋1,105億円
- 調整後EBITDAの成長、円安影響等

【棚卸資産の増加】+779億円
- 海外たばこ事業における円安影響等

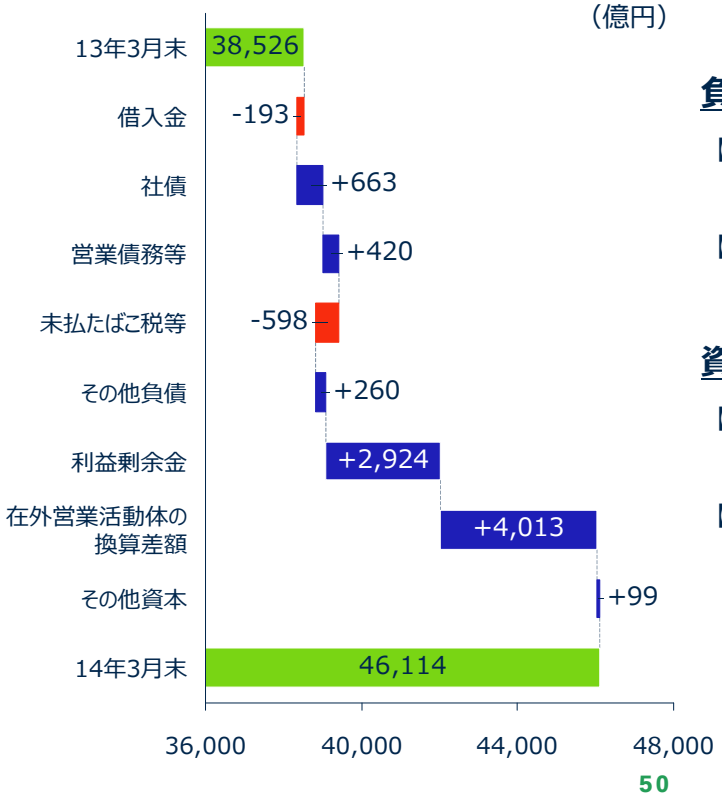
非流動資産：+4,876億円

【のれんの増加】＋2,680億円
- 円安影響

【その他資産の増加】＋1,088億円
- 海外たばこ事業におけるMegapolisへの出資、円安影響等

2013年度末　連結財政状態計算書

負債･資本の部　2013年3月末･2014年3月末比較



50

負債合計：+552億円

【社債の増加】+663億円
- USD建社債の発行

【未払たばこ税等の減少】-598億円
- 国内たばこ事業での前年度末休日による暦日影響

資本：+7,037億円

【在外営業活動体の換算差額】+4,013億円
- 円安影響

【利益剰余金の増加】+2,924億円
- 配当金の支払いあるも、当期利益の計上による増

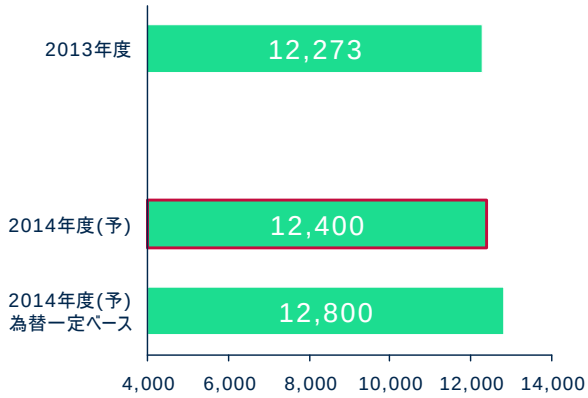
補足資料:2014年見込

2014年業績予想　対前年実績

海外たばこ事業　自社たばこ製品売上収益[6]/ 調整後営業利益[9](＄ベース)

（百万US$）

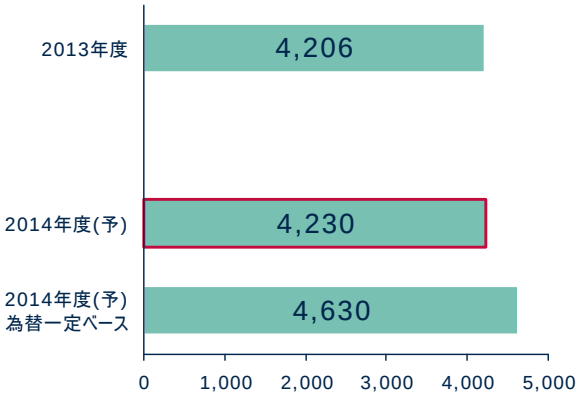
自社たばこ製品売上収益[6]



主な増加要因
- 単価効果

主な減少要因
- 数量差

調整後営業利益[9]



主な増加要因
- 単価効果、コスト最適化

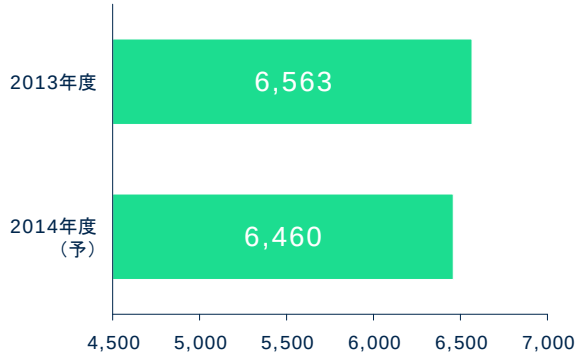
主な減少要因
- 数量差

2014年業績予想　対前年実績　(1-12月　Like for Like ベース)

国内たばこ事業　自社たばこ製品売上収益[8]/ 調整後営業利益[9]

(億円)

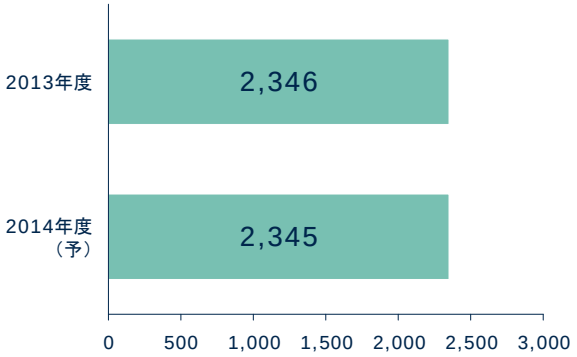
自社たばこ製品売上収益[8]



主な増加要因
- ブランドエクイティの強化

主な減少要因
- 数量減少影響
  1,165億本⇒1,125億本

調整後営業利益[9]



主な増加要因
- ブランドエクイティの強化、コスト削減

主な減少要因
- 数量減少影響
  1,165億本⇒1,125億本

2014年業績予想　対前年実績　(1-12月　Like for Like ベース)

医薬事業　売上収益/ 調整後営業利益[9]

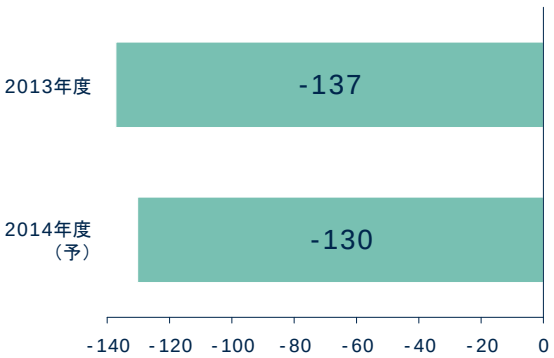
(億円)

売上収益



主な増加要因
- 鳥居薬品の増収
- JTでのロイヤリティ収入の増

調整後営業利益[9]



主な増加要因
- 鳥居薬品での増収
- JTでのロイヤリティ収入の増

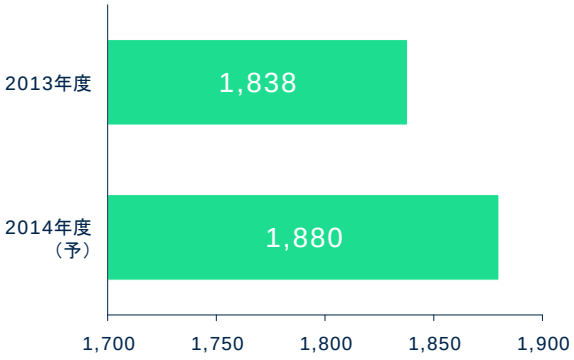
主な減少要因
- 研究開発費の増加

2014年業績予想　対前年実績　(1-12月　Like for Like ベース)

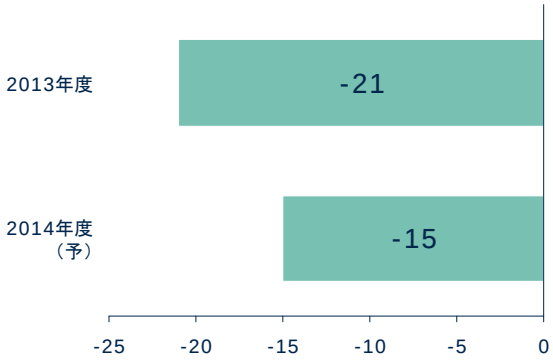
飲料事業　売上収益/ 調整後営業利益[9]

(億円)

売上収益



調整後営業利益[9]



主な増加要因

- 「桃の天然水」伸長による自社製品販売数量の増加

主な増加要因

- 売上収益の増加及び経費の効率的執行等

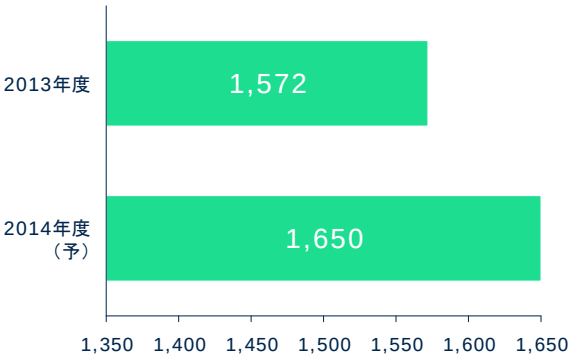
55

2014年業績予想　対前年実績　(1-12月　Like for Like ベース)

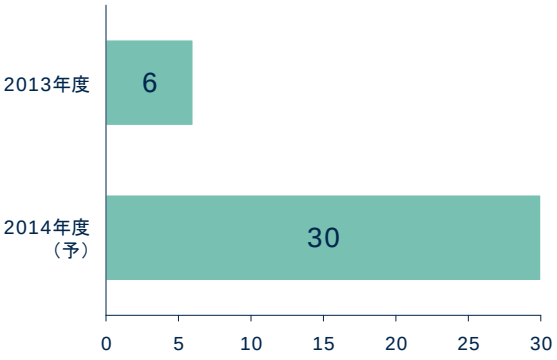
加工食品事業　売上収益/ 調整後営業利益[9]

(億円)

売上収益



調整後営業利益[9]



主な増加要因

- ステープル(主食）の伸長

主な増加要因

- ステープル(主食）の増収効果及び効率的な経費執行等

56

前提為替レート

	2013 実績	2014 見込	対前年
RUB/$	31.84	36.00	11.6%安
GBP/$	0.64	0.60	6.6%高
EUR/$	0.75	0.72	4.6%高
CHF/$	0.93	0.88	5.3%高
TWD/$	29.68	30.30	2.0%安
TRY/$	1.90	2.30	17.3%安
UAH/$	7.99	10.00	20.1%安
JPY/$	97.73	100.00	2.3%安

57

基本的EPS、1株当たり配当金、連結配当性向

	2013年度 実績	2014年度 予想
基本的EPS（円）*	235.48	189.27
1株当たり配当金（円）	96.00	100.00
連結配当性向（%）**	40.8%	52.8%

*親会社の所有者に帰属する当期利益を基に算定
**連結配当性向＝1株当たり配当金／基本的1株当たり利益

58

<注記>

1 調整後EBITDA：	調整後EBITDA=営業利益+有形固定資産の減価償却+無形資産の償却費+調整項目(収益及び費用)* *調整項目（収益及び費用） = のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等
2 当期利益：	親会社の所有者に帰属する四半期利益/当期利益
3調整後EPS：	調整後EPS=[当期利益（親会社所有者帰属)±調整項目（収益及び費用）* ±(調整項目にかかる税金相当額及び非支配持分損益)]/(期中平均株式数＋新株予約権による株式増加数) *調整項目（収益及び費用）＝のれんの減損損失±リストラクチャリング収益及び費用等
4総販売数量： (海外たばこ事業)	水たばこ/製造受託を除き、Fine Cut/Cigar/Pipe/Snus込み
5為替一定： (海外たばこ事業)	為替一定ベースの指標は、当年の実績を前年の為替レートに基づき算出し直したものです。2013年において、大幅な為替変動、通貨価値下落、インフレが生じている市場の実績（もしくは見込）は、財務報告ベースおよび為替一定ベースの指標とも、実績為替レート（見込の場合は、想定為替レート）に基づいて算出しております。同様の方法で、当該市場における2012年の為替一定ベースの実績についても算出し直しています。ただし、為替一定ベースの実績については追加的に提供しているものであり、国際会計基準（IFRS）に基づく財務報告に代わるものではありません。
6自社たばこ製品売上収益： (海外たばこ事業)	物流事業、製造受託等を除き、水たばこの売上込み
7 販売数量： (国内たばこ事業)	国内免税販売及び中国事業部分を含まない
8自社たばこ製品売上収益： (国内たばこ事業)	輸入たばこ配送手数料収益等を控除
9 調整後営業利益：	調整後営業利益 = 営業利益 + 買収に伴い生じた無形資産に係る償却費 + 調整項目（収益及び費用)* *調整項目（収益及び費用) = のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等

(このスライドは空白です)

・IAS第19号の改定に伴い、2012 年度の財務報告ベース及び為替一定ベースについて遡及修正を行った数値を掲載しています。
・当該遡及修正による財務諸表への重要な影響はありません。

1.業績ハイライト　（単位：億円、%）

	12年度	13年度	増減	増減率
売上収益	21,202	23,998	+2,796	+13.2%
営業利益	5,322	6,483	+1,160	+21.8%
税引前利益	5,094	6,362	+1,268	+24.9%
当期利益	3,514	4,353	+838	+23.9%
親会社の所有者に帰属する当期利益	3,436	4,280	+844	+24.6%
基本的EPS（円）	181.07	235.48	+54.42	+30.1%
希薄化後EPS（円）	180.98	235.35	+54.37	+30.0%
調整後EBITDA(注1)	6,220	7,517	+1,298	+20.9%
調整後当期利益	3,297	4,104	+807	+24.5%
調整後希薄化後EPS（円）(注2)	173.64	225.68	+52.04	+30.0%
1株当たり配当金（円）	68.00	96.00	+28.00	+41.2%
連結配当性向	37.6%	40.8%	+3.2%pt	
親会社所有者帰属持分当期利益率（ROE）	20.0%	19.9%	-0.1%pt	

（注1）：調整後EBITDA＝営業利益＋有形固定資産の減価償却費＋無形資産の償却費±調整項目（収益及び費用）*
*調整項目（収益及び費用）＝のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等

（参考）　（単位：億円、%）

	12年度	13年度	増減	増減率
全社　為替一定ベース 調整後EBITDA(注3)	6,220	6,683	+464	+7.5%
全社　為替一定ベース 調整後希薄化後EPS（円）(注2)(注3)	173.64	200.96	+27.32	+15.7%

（注2）：調整後希薄化後1株当たり利益＝（親会社所有者に帰属する当期利益±調整項目（収益及び費用）*±調整項目にかかる税金相当　額及び非支配持分損益）／（期中平均株式数＋新株予約権による株式増加数）
*調整項目（収益及び費用）：のれんの減損損失±リストラクチャリング収益及び費用等

（注3）：12年12月期は実績値、13年12月期は海外たばこ事業について12年12月期と同じ現地通貨及び円の対ドルレートを使用した場合の全社調整後EBITDA

2.売上収益の内訳　（単位：億円、%）

	12年度	13年度	増減	増減率
売上収益	21,202	23,998	+2,796	+13.2%
国内たばこ事業	6,871	7,103	+232	+3.4%
自社たばこ製品売上収益(注1)	6,540	6,762	+222	+3.4%
海外たばこ事業(注2)	10,107	12,700	+2,594	+25.7%
自社たばこ製品売上収益(注3)	9,431	12,007	+2,576	+27.3%
医薬事業	532	644	+113	+21.2%
飲料事業	1,855	1,845	-10	- 0.5%
加工食品事業	1,687	1,569	-118	- 7.0%
その他の売上収益	150	136	-14	- 9.1%

（参考　ドルベース）　（単位：百万ドル、%）

	12年 1-12月期	13年 1-12月期	増減	増減率
海外たばこ事業 自社たばこ製品売上収益(注3)	11,817	12,273	+457	+3.9%
海外たばこ事業　為替一定ベース 自社たばこ製品売上収益(注3)(注4)	11,655	12,362	+708	+6.1%

（注1）：国内たばこ事業の輸入たばこ配送手数料収益等を控除

（注2）：海外たばこ事業は、1-12月期の実績

（注3）：海外たばこ事業の物流事業、製造受託等を除き、水たばこの売上を含んだ実績

（注4）：為替一定ベースの指標は、当年の実績を前年の為替レートに基づき算出し直したものです。2013年において、大幅な為替変動、通貨価値下落、インフレが生じている市場の実績は、財務報告ベースおよび為替一定ベースの指標とも、実績為替レートに基づいて算出しております。同様の方法で、当該市場における2012年の為替一定ベースの実績についても算出し直しています。ただし、為替一定ベースの実績については追加的に提供しているものであり、国際会計基準（IFRS）に基づく財務報告に代わるものではありません。

3.事業セグメント別調整後EBITDA(注1)　（単位：億円、%）

	12年度	13年度	増減	増減率
全社　営業利益	5,322	6,483	+1,160	+21.8%
調整合計(注3)	898	1,035	+137	-
全社　調整後EBITDA(注1)	6,220	7,517	+1,298	+20.9%
国内たばこ　営業利益	2,413	2,581	+168	+7.0%
調整合計(注3)	400	440	+40	-
国内たばこ　調整後EBITDA(注1)	2,813	3,021	+208	+7.4%
海外たばこ　営業利益(注2)	2,894	3,764	+870	+30.1%
調整合計(注2)(注3)	538	752	+215	-
海外たばこ　調整後EBITDA(注1)(注2)	3,432	4,516	+1,084	+31.6%
医薬　営業利益	-162	-90	+72	-
調整合計(注3)	34	36	+2	-
医薬　調整後EBITDA(注1)	-127	-54	+73	-
飲料　営業利益	23	-21	-44	-
調整合計(注3)	101	108	+7	-
飲料　調整後EBITDA(注1)	124	87	-37	- 30.2%
加工食品　営業利益	-58	-2	+56	-
調整合計(注3)	132	77	-55	-
加工食品　調整後EBITDA(注1)	74	75	+1	+1.5%
その他/消去　営業利益	212	250	+39	+18.4%
調整合計(注3)	-307	-378	-71	-
その他/消去　調整後EBITDA(注1)	-96	-127	-32	-

（参考　ドルベース）　（単位：百万ドル、%）

	12年 1-12月期	13年 1-12月期	増減	増減率
海外たばこ事業 調整後EBITDA(注1)	4,300	4,623	+323	+7.5%
海外たばこ事業 為替一定ベース 調整後EBITDA(注1)(注4)	4,145	4,614	+469	+11.3%

（注1）：調整後EBITDA＝営業利益＋有形固定資産の減価償却費＋無形資産の償却費±調整項目（収益及び費用）*
*調整項目（収益及び費用）＝のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等

（注2）：海外たばこ事業は、1-12月期の実績

（注3）：減価償却費及び償却費、調整項目（収益及び費用）＝のれんの減損損失±リストラクチャリング収益及び費用等

（注4）：為替一定ベースの指標は、当年の実績を前年の為替レートに基づき算出し直したものです。2013年において、大幅な為替変動、通貨価値下落、インフレが生じている市場の実績は、財務報告ベースおよび為替一定ベースの指標とも、実績為替レートに基づいて算出しております。同様の方法で、当該市場における2012年の為替一定ベースの実績についても算出し直しています。ただし、為替一定ベースの実績については追加的に提供しているものであり、国際会計基準（IFRS）に基づく財務報告に代わるものではありません。

4.連結財政状態データ　（単位：億円）

	13年3月末	14年3月末	増減
資産合計	38,526	46,114	+7,589
資本合計	18,924	25,961	+7,037
親会社の所有者に帰属する持分	18,065	25,056	+6,991
1株あたり親会社所有者帰属持分（円）	993.98	1,378.57	+384.59

5.手元流動性(注)　（単位：億円）

	13年3月末	14年3月末	増減
手元流動性	1,683	2,593	910

（注）：手元流動性＝現預金＋短期保有の有価証券＋現先

6.有利子負債(注)　（単位：億円）

	13年3月末	14年3月末	増減
有利子負債	3,272	3,759	486

（注）：有利子負債＝短期借入金＋社債＋長期借入金＋リース債務＋コマーシャルペーパー

7.連結キャッシュ・フローデータ　（単位：億円、%）

	12年度	13年度	増減	増減率
営業キャッシュ・フロー	4,666	3,965	-701	-15.0%
投資キャッシュ・フロー	-1,479	-1,635	-155	—
財務キャッシュ・フロー	-5,695	-1,452	+4,243	—
現金及び現金同等物の期首残高	4,047	1,427	-2,620	-64.7%
現金及び現金同等物に係る換算差額等	-112	227	+339	—
現金及び現金同等物の期末残高(注1)	1,427	2,532	+1,105	+77.4%
FCF(注2)	3,160	2,126	-1,035	-32.7%

（注1）：当四半期末の「現金及び現金同等物」には、当社グループのイラン子会社であるJTI Pars PJS Co.が保有する現金及び現金同等物421億円(12兆553億イランリアル)が含まれており、イランに対する国際的な制裁等のため、同社によるイラン国外への資金の送金は困難な状況になっております。

（注2）：FCF＝営業活動キャッシュフロー＋投資活動キャッシュフロー　ただし以下の項目を除外
営業活動キャッシュフローから利息及び配当金の受取額とその税影響額/利息の支払額とその税影響額
投資活動キャッシュフローから、事業投資以外に係る、投資の取得による支出/投資の売却及び償還による収入/定期預金の預入による支出/定期預金の払出による収入/その他

8.資本的支出　（単位：億円、%）

	12年度	13年度	増減	増減率
資本的支出	1,374	1,562	+187	+13.6%
国内たばこ事業	712	491	-221	-31.1%
海外たばこ事業(注)	375	785	+410	+109.4%
医薬事業	58	39	-19	-33.0%
飲料事業	120	146	+26	+21.7%
加工食品事業	46	49	+3	+6.6%
その他/全社・消去	63	51	-12	-18.9%

（注）：海外たばこ事業は、1-12月期の実績

9.主な事業関連計数

【国内たばこ事業】	12年度	13年度	増減	増減率	
JT販売数量(注)	1,162	1,201	+39	+3.3%	億本
国内総需要	1,951	1,969	+18	+0.9%	億本
JT販売数量シェア	59.6%	61.0%	+1.4%pt		
JT千本当たり収益	5,502	5,485	-17	- 0.3%	円

（注）：JT販売数量には国内免税販売分及び中国事業部分を含まない。当該数量は、2012年度第4四半期31億本、2013年度第4四半期34億本。

【海外たばこ事業】	12年 1-12月期	13年 1-12月期	増減	増減率	
販売数量(注)	4,365	4,164	-202	- 4.6%	億本
GFB販売数量	2,688	2,666	- 22	- 0.8%	億本
円/USドルレート	79.81	97.73	+17.92	18.3%安	円
RUB/USドルレート	31.07	31.84	+0.77	2.4%安	RUB
GBP/USドルレート	0.63	0.64	+0.01	1.3%安	GBP
EUR/USドルレート	0.78	0.75	-0.02	3.3%高	EUR
CHF/USドルレート	0.94	0.93	-0.01	1.2%高	CHF
TWD/USドルレート	29.57	29.68	+0.11	0.4%安	TWD

（注）：水たばこ/受託製造を除き、Fine cut/ Cigar/Pipe/Snus込み

【医薬事業】	12年度	13年度	増減	増減率	
研究開発費	307	305	-2	- 0.8%	億円

【飲料事業】	12年度	13年度	増減	増減率	
JT製品販売数量	3,225	3,268	+43	+1.3%	万ケース
うちRoots販売数量	1,854	1,785	-69	- 3.7%	万ケース

	13年3月末	14年3月末	増減	
自動販売機台数(注)	262,000	266,000	+4,000	台
うちマーキング機	39,000	44,000	+5,000	台
うちコンビ機	83,000	82,000	-1,000	台
その他	140,000	140,000	+0	台

（注）：自動販売機台数には、関係会社が運営する他社機（缶・ブリック等）及びカップ機を含む。「マーキング機」とは当社所有の自動販売機を指し、「コンビ機」とは関係会社所有で他社の製品も取り扱いながら、JT製品の露出を積極的に行う自動販売機を指す。

10.従業員数(注)　（単位：人）

	12年度	13年度	増減
従業員数（連結）	49,507	51,563	+2,056
国内たばこ事業	11,043	11,022	-21
海外たばこ事業	24,397	26,731	+2,334
医薬事業	1,744	1,787	+43
飲料事業	4,912	5,035	+123
加工食品事業	6,563	6,096	-467
その他事業/全社共通業務	848	892	+44
従業員数（単体）	8,925	8,774	-151

（注）：従業員数は就業人員ベース

・IAS第19号の改定に伴い、2012 年度の財務報告ベース及び為替一定ベースについて遡及修正を行った数値を掲載しています。
・当該遡及修正による財務諸表への重要な影響はありません。

10.P/L 内訳表

（単位：億円）

	12年度	13年度	増減
売上収益	21,202	23,998	+2,796
売上原価	8,994	9,800	+805
売上総利益	12,208	14,199	+1,991
その他の営業収益	422	556	+135
固定資産及び投資不動産の売却益	352	450	+98
その他	70	107	+37
持分法による投資利益	28	17	-11
販売費及び一般管理費等	7,335	8,289	+955
広告宣伝費	206	217	+12
販売促進費	1,375	1,478	+103
運賃保管費	271	271	-0
委託手数料	412	493	+81
従業員給付費用	2,415	2,758	+343
研究開発費	569	571	+2
減価償却費及び償却費	591	688	+97
減損損失	32	24	-8
有形固定資産、無形資産及び投資不動産	93	95	+2
関連会社株式減損損失	―	97	+97
その他	1,372	1,597	+225
営業利益	5,322	6,483	+1,160
減価償却費及び償却費	1,165	1,329	+165
調整項目(収益)	-342	-440	-98
調整項目(費用)	75	146	+70
全社 調整後EBITDA(注1)	6,220	7,517	+1,298
国内たばこ 営業利益	2,413	2,581	+168
減価償却費及び償却費	411	444	+33
調整項目(収益)	-12	-11	+1
調整項目(費用)	2	7	+6
国内たばこ 調整後EBITDA(注1)	2,813	3,021	+208
海外たばこ 営業利益(注2)	2,894	3,764	+870
減価償却費及び償却費(注2)	511	637	+126
調整項目(収益)(注2)	-4	―	+4
調整項目(費用)(注2)	31	115	+84
海外たばこ 調整後EBITDA(注1)(注2)	3,432	4,516	+1,084
医薬 営業利益	-162	-90	+72
減価償却費及び償却費	34	36	+2
調整項目(収益)	―	―	―
調整項目(費用)	―	―	―
医薬 調整後EBITDA(注1)	-127	-54	+73
飲料 営業利益	23	-21	-44
減価償却費及び償却費	101	108	+7
調整項目(収益)	―	―	―
調整項目(費用)	―	―	―
飲料 調整後EBITDA(注1)	124	87	-37
加工食品 営業利益	-58	-2	+56
減価償却費及び償却費	71	69	-2
調整項目(収益)	―	-2	-2
調整項目(費用)	60	10	-50
加工食品 調整後EBITDA(注1)	74	75	+1
その他/消去 営業利益	212	250	+39
減価償却費及び償却費	36	35	-2
調整項目(収益)	-326	-426	-100
調整項目(費用)	-17	14	+31
その他/消去 調整後EBITDA(注1)	-96	-127	-32

（単位：億円）

	12年度	13年度	増減
金融収益	55	84	+29
配当収入	14	15	+2
利息収入	38	64	+26
為替差益	―	―	―
その他	4	4	+1
金融費用	284	204	-79
利息費用	101	86	-15
退職給付費用	58	58	+1
為替差損	113	47	-66
その他	12	12	+1
税引前四半期利益	5,094	6,362	+1,268
法人所得税費用	1,579	2,009	+430
四半期利益	3,514	4,353	+838
親会社の所有者	3,436	4,280	+844
非支配持分	79	73	-5

(注1)：調整後EBITDA＝営業利益＋有形固定資産の減価償却費＋無形資産の償却費±調整項目(収益及び費用)*
*調整項目(収益及び費用) ＝のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等

(注2)：海外たばこ事業は、1-12月期の実績

・IAS第19号の改定に伴い、2012 年度の財務報告ベース及び為替一定ベースについて遡及修正を行った数値を掲載しています。
・当該遡及修正による財務諸表への重要な影響はありません。

11.B/S 内訳表

（単位：億円）

	13年3月末	14年3月末	増減
流動資産	12,131	14,844	+2,712
現金及び現金同等物	1,427	2,532	+1,105
現金及び預金	1,218	2,390	+1,172
短期投資	210	143	-67
営業債権及びその他の債権	3,878	4,402	+524
受取手形及び売掛金	3,680	4,302	+623
その他	215	123	-91
貸倒引当金	-16	-23	-7
棚卸資産	4,730	5,510	+779
商品及び製品	1,331	1,602	+271
葉たばこ	2,920	3,343	+423
その他	479	564	+86
その他の金融資産※1	291	173	-118
その他の流動資産	1,779	2,207	+428
前払たばこ税	1,303	1,763	+459
前払費用	95	113	+18
未収消費税等	106	125	+19
その他	274	206	-68
売却目的で保有する非流動資産	26	20	-6
非流動資産	26,394	31,271	+4,876
有形固定資産	6,723	7,800	+1,077
取得原価	15,357	17,211	+1,854
減価償却累計額及び減損損失累計額	-8,634	-9,411	-777
土地、建物及び構築物	3,073	3,313	+240
取得原価	6,157	6,540	+383
減価償却累計額及び減損損失累計額	-3,083	-3,227	-143
機械装置及び運搬具	2,712	3,119	+407
取得原価	7,202	8,111	+909
減価償却累計額及び減損損失累計額	-4,490	-4,991	-502
工具、器具及び備品	653	687	+35
取得原価	1,714	1,880	+166
減価償却累計額及び減損損失累計額	-1,061	-1,192	-132
建設仮勘定	285	680	+395
取得原価	285	680	+395
減価償却累計額及び減損損失累計額	―	―	―
のれん※2	13,165	15,844	+2,680
取得原価	13,165	15,844	+2,680
償却累計額及び減損損失累計額	―	―	―
無形資産	3,488	3,851	+363
取得原価	9,331	10,415	+1,084
償却累計額及び減損損失累計額	-5,842	-6,564	-721
商標権※3	2,876	3,212	+336
取得原価	7,337	8,247	+909
償却累計額及び減損損失累計額	-4,461	-5,034	-573
ソフトウェア	319	344	+25
取得原価	1,116	1,239	+123
償却累計額及び減損損失累計額	-798	-896	-98
その他	293	295	+2
取得原価	877	929	+52
償却累計額及び減損損失累計額	-583	-634	-50
投資不動産	590	614	+24
退職給付に係る資産	148	165	+17
持分法で会計処理されている投資	229	1,061	+832
その他の金融資産※3	718	926	+208
繰延税金資産	1,333	1,009	-324
資産合計	38,526	46,114	+7,589

※1

その他の金融資産（流動・非流動の計）	1,009	1,099	+90
デリバティブ資産	41	86	+45
株式	467	537	+70
債券	157	72	-85
定期預金	53	15	-38
その他	382	472	+90
貸倒引当金	-91	-83	+8

※2

のれん　海外たばこ資金生成単位	12,740	15,419	+2,679
のれん　加工食品資金生成単位	254	254	―

※3

商標権　海外たばこ事業	2,849	3,187	+338

（単位：億円）

	13年3月末	14年3月末	増減
流動負債	11,130	12,505	+1,375
営業債務及びその他の債務	3,127	3,547	+420
支払手形及び買掛金	1,735	1,904	+170
未払金	713	733	+20
その他	680	910	+230
社債及び借入金※4	443	1,956	+1,513
未払法人所得税等	857	772	-86
その他の金融負債※4	86	95	+9
引当金	53	74	+21
その他の流動負債※5	6,563	6,062	-501
売却目的で保有する非流動資産に直接関連する負債	1	1	-0
非流動負債	8,472	7,648	-823
社債及び借入金※4	2,704	1,662	-1,042
その他の金融負債※4	188	177	-11
退職給付に係る負債	3,426	3,405	-21
引当金	48	52	+5
その他の非流動負債※5	1,132	1,265	+133
繰延税金負債	973	1,087	+114
負債合計	19,601	20,154	+552
資本	18,924	25,961	+7,037
資本金	1,000	1,000	―
資本剰余金	7,364	7,364	-0
自己株式	-3,446	-3,445	+1
その他の資本の構成要素	-1,554	2,511	+4,065
利益剰余金	14,701	17,626	+2,924
非支配持分	859	905	+46
負債及び資本合計	38,526	46,114	+7,589

※4

社債及び借入金（その他の金融負債含む）（流動・非流動の計）	3,421	3,889	+469
デリバティブ負債	38	49	+10
短期借入金	238	219	-19
コマーシャル・ペーパー	―	―	―
1年内返済予定の長期借入金	205	12	-192
1年内償還予定の社債	―	1,724	+1,724
長期借入金	332	350	+19
社債	2,372	1,311	-1,061
その他	236	224	-12

※5

その他の負債（流動・非流動の計）	7,695	7,327	-368
未払たばこ税	2,858	2,914	+56
未払たばこ税特別税	145	100	-45
未払地方たばこ税	1,824	1,215	-609
未払消費税等	854	917	+63
従業員賞与	455	526	+72
従業員有給休暇債務	198	215	+17
その他	1,363	1,440	+77

2014年度 業績予想
【1-12月Like for Like ベース】

・2014年度は、決算期変更の経過期間となり、当社及び海外たばこ事業セグメント以外に属する主な連結子会社は2014年4月-12月の9ヶ月の決算となります。
・なお、当社及びすべての連結子会社の決算期を1月から12月の12ヶ月と仮定すると、2013年度実績及び2014年度の業績予想は以下のとおりとなります。

1.業績ハイライト

（単位：億円、%）

	2013年度 1-12月 実績	2014年度 1-12月 予想	増減	増減率
売上収益	23,722	24,300	+578	+2.4%
営業利益	6,433	5,540	-893	- 13.9%
親会社の所有者に帰属する当期利益	4,436	3,700	-736	- 16.6%
基本的EPS(円)(注1)	242.12	203.57	-38.55	- 15.9%
調整後営業利益(注2)	6,130	6,230	+100	+1.6%

（参考）

	2013年度 1-12月 実績	2014年度 1-12月 予想	増減	増減率
全社 為替一定ベース 調整後営業利益(注3)	6,130	6,500	+370	+6.0%

（注1）：親会社の所有者に帰属する当期利益を基に算定

（注2）：調整後営業利益 = 営業利益 + 買収に伴い生じた無形資産に係る償却費 + 調整項目（収益及び費用）*
*調整項目（収益及び費用）= のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等

（注3）：13年度は実績値、14年度予想は海外たばこ事業について13年度と同じ現地通貨及び円の対ドルレートを使用した場合の全社調整後営業利益

2.売上収益の内訳

（単位：億円、%）

		2013年度 1-12月 実績	2014年度 1-12月 予想	増減	増減率
売上収益		23,722	24,300	+578	+2.4%
	国内たばこ事業	6,905	6,810	-95	- 1.4%
	自社たばこ製品売上収益(注1)	6,563	6,460	-103	- 1.6%
	海外たばこ事業	12,700	13,190	+490	+3.9%
	自社たばこ製品売上収益(注2)	12,007	12,470	+463	+3.9%
	医薬事業	582	630	+48	+8.3%
	飲料事業	1,838	1,880	+42	+2.3%
	加工食品事業	1,572	1,650	+78	+5.0%
	その他の売上収益	126	125	-1	- 0.4%

（参考 ドルベース）

（単位：百万ドル、%）

	2013年度 1-12月 実績	2014年度 1-12月 予想	増減	増減率
海外たばこ事業 自社たばこ製品売上収益(注2)	12,273	12,400	+127	+1.0%
海外たばこ事業 為替一定ベース 自社たばこ製品売上収益(注2)(注3)	12,273	12,800	+527	+4.3%

（注1）：国内たばこ事業の輸入たばこ配送手数料収益等を控除

（注2）：海外たばこ事業の物流事業、製造受託等を除き、水たばこの売上を含む

（注3）：13年度は実績値、14年度予想は13年度実績と同じ現地通貨の対ドルレートを使用した場合の海外たばこ事業自社たばこ製品売上収益

3.事業セグメント別営業利益及び調整後営業利益(注1)

（単位：億円、%）

		2013年度 1-12月 実績	2014年度 1-12月 予想	増減	増減率
全社 営業利益		6,433	5,540	-893	- 13.9%
	国内たばこ事業	2,356	1,810	-546	- 23.2%
	海外たばこ事業	3,764	3,980	+216	+5.7%
	医薬事業	-137	-130	+7	—
	飲料事業	-21	-15	+6	—
	加工食品事業	7	30	+23	+306.5%
	その他/消去	463	-145	-608	- 131.3%
全社 調整後営業利益(注1)		6,130	6,230	+100	+1.6%
	国内たばこ事業(注1)	2,346	2,345	-1	- 0.1%
	海外たばこ事業(注1)	4,108	4,250	+142	+3.4%
	医薬事業(注1)	-137	-130	+7	—
	飲料事業(注1)	-21	-15	+6	—
	加工食品事業(注1)	6	30	+24	+387.8%
	その他/消去(注1)	-173	-260	-87	—

（参考 ドルベース）

（単位：百万ドル、%）

	2013年度 1-12月 実績	2014年度 1-12月 予想	増減	増減率
海外たばこ事業 調整後営業利益(注1)	4,206	4,230	+24	+0.6%
海外たばこ事業 為替一定ベース 調整後営業利益(注1)(注2)(注3)	4,206	4,630	+424	+10.1%

（注1）：調整後営業利益 = 営業利益 + 買収に伴い生じた無形資産に係る償却費 + 調整項目（収益及び費用）*
*調整項目（収益及び費用）= のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等

（注2）：13年度は実績値、14年予想は13年実績と同じ現地通貨の対ドルレートを使用した場合の海外たばこ事業調整後営業利益

4.業績予想の主な前提条件

国内たばこ事業	2013年度 1-12月 実績	2014年度 1-12月 予想	増減	増減率	
JT販売数量(注)	1,165	1,125	-40	- 3.5%	億本

（注）：JT販売数量には国内免税販売分及び中国事業部分を含まない。

海外たばこ事業	2013年度 1-12月 実績	2014年度 1-12月 予想	増減	増減率	
総販売数量(注1)	4,175	4,050	-125	- 3.0%	億本
GFB販売数量	2,675	2,630	-45	- 1.7%	億本
円/USドルレート	97.73	100.00	+2.27	2.3%安	円
RUB/USドルレート	31.84	36.00	+4.16	11.6%安	RUB
GBP/USドルレート	0.64	0.60	-0.04	6.6%高	GBP
EUR/USドルレート	0.75	0.72	-0.03	4.6%高	EUR
CHF/USドルレート	0.93	0.88	-0.05	5.3%高	CHF
TWD/USドルレート	29.68	30.30	+0.62	2.0%安	TWD

（注1）：水たばこ/受託製造を除き、Fine cut/ Cigar/Pipe/Snus込み

2014年度 業績予想
【財務報告ベース】

・2014年度は、決算期変更の経過期間となり、当社及び海外たばこ事業セグメント以外に属する主な連結子会社は2014年4月-12月の9ヶ月の決算となります。
・なお、決算期が12 月31 日の海外たばこ事業セグメントに属する連結子会社につきましては、従来通り、2014 年1 月1 日から2014年12 月31 日までの12ヶ月決算となります。

1.業績ハイライト

（単位:億円）

	2013年度 実績	2014年度 予想
売上収益	23,998	21,500
営業利益	6,483	4,820
親会社の所有者に帰属する当期利益	4,280	3,440
基本的EPS(円)(注1)	235.48	189.27
調整後営業利益(注2)	6,418	5,520
1株当たり配当金(円)	96.00	100.00
連結配当性向(注3)	40.8%	52.8%
親会社所有者帰属持分当期利益率(ROE)(注4)	19.9%	13.8%

（注1）:親会社の所有者に帰属する当期利益を基に算定

(注2）:調整後営業利益 = 営業利益 + 買収に伴い生じた無形資産に係る償却費 + 調整項目(収益及び費用)*
*調整項目(収益及び費用) = のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等

（注3）:連結配当性向＝1株当たり配当金／基本的1株当たり利益

（注4）:親会社所有者帰属持分当期利益率(ROE)＝親会社の所有者に帰属する当期利益と、親会社の所有者に帰属する資本を基に算出

2.売上収益の内訳

（単位:億円）

		2013年度 実績	2014年度 予想
売上収益		23,998	21,500
	国内たばこ事業	7,103	5,010
	自社たばこ製品売上収益(注1)	6,762	4,750
	海外たばこ事業(注2)	12,700	13,190
	自社たばこ製品売上収益(注3)	12,007	12,470
	医薬事業	644	450
	飲料事業	1,845	1,460
	加工食品事業	1,569	1,300
	その他の売上収益	136	105

（参考 ドルベース）

（単位:百万ドル、%）

	2013年度 実績	2014年度 予想	増減	増減率
海外たばこ事業 自社たばこ製品売上収益(注2)(注3)	12,273	12,400	+127	+1.0%
海外たばこ事業 為替一定ベース 自社たばこ製品売上収益(注2)(注3)(注4)	12,273	12,800	+527	+4.3%

(注1) :国内たばこ事業の輸入たばこ配送手数料収益等を控除

(注2) :海外たばこ事業は、1-12月期の実績、予想

(注3) :海外たばこ事業の物流事業、製造受託等を除き、水たばこの売上を含む

(注4) :14年度予想は13年度実績と同じ現地通貨の対ドルレートを使用した場合の海外たばこ事業自社たばこ製品売上収益

3.事業セグメント別営業利益及び調整後営業利益(注1)

（単位:億円）

		2013年度 実績	2014年度 予想
全社	営業利益	6,483	4,820
	国内たばこ事業	2,581	1,150
	海外たばこ事業(注2)	3,764	3,980
	医薬事業	-90	-125
	飲料事業	-21	-10
	加工食品事業	-2	30
	その他/消去	250	-215
全社	調整後営業利益(注1)	6,418	5,520
	国内たばこ事業(注1)	2,577	1,680
	海外たばこ事業(注1)(注2)	4,108	4,250
	医薬事業(注1)	-90	-125
	飲料事業(注1)	-21	-10
	加工食品事業(注1)	6	30
	その他/消去(注1)	-162	-315

（参考 ドルベース）

（単位:百万ドル、%）

	2013年度 実績	2014年度 予想	増減	増減率
海外たばこ事業 調整後営業利益(注1)(注2)	4,206	4,230	+24	+0.6%
海外たばこ事業 為替一定ベース 調整後営業利益(注1)(注2)(注3)	4,206	4,630	+424	+10.1%

(注1) :調整後営業利益 = 営業利益 + 買収に伴い生じた無形資産に係る償却費 + 調整項目 (収益及び費用)*
*調整項目 (収益及び費用) = のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等

（注2）:海外たばこ事業は、1-12月期の実績、予想

（注3）:14年予想は13年実績と同じ現地通貨の対ドルレートを使用した場合の海外たばこ事業調整後営業利益

4.連結キャッシュ・フローデータ

（単位:億円）

	2013年度 実績	2014年度 予想
FCF(億円)(注)	2,126	3,640

（注）:FCF=営業活動キャッシュフロー＋投資活動キャッシュフロー ただし以下の項目を除外
営業活動キャッシュフローから利息及び配当金の受取額とその税影響額/利息の支払額とその税影響額
投資活動キャッシュフローから、事業投資以外に係る、投資の取得による支出/投資の売却及び償還による収入/定期預金の預入による支出/定期預金の払出による収入/その他

5.資本的支出

（単位:億円）

		2013年度 実績	2014年度 予想
資本的支出		1,562	1,540
	国内たばこ事業	491	410
	海外たばこ事業(注)	785	890
	医薬事業	39	30
	飲料事業	146	90
	加工食品事業	49	60
	その他/全社・消去	51	60

（注）:海外たばこ事業は、1-12月期の実績、予想

6.業績予想の主な前提条件

国内たばこ事業	2013年度 実績	2014年度 予想	
JT販売数量(注)	1,201	820	億本

（注）:JT販売数量には国内免税販売分及び中国事業部分を含まない。

海外たばこ事業(注1)	2013年度 実績	2014年度 予想	増減	増減率	
総販売数量(注2)	4,175	4,050	-125	- 3.0%	億本
GFB販売数量	2,675	2,630	-45	- 1.7%	億本
円/USドルレート	97.73	100.00	+2.27	2.3%安	円
RUB/USドルレート	31.84	36.00	+4.16	11.6%安	RUB
GBP/USドルレート	0.64	0.60	-0.04	6.6%高	GBP
EUR/USドルレート	0.75	0.72	-0.03	4.6%高	EUR
CHF/USドルレート	0.93	0.88	-0.05	5.3%高	CHF
TWD/USドルレート	29.68	30.30	+0.62	2.0%安	TWD

（注1）:海外たばこ事業は、1-12月期の実績、予想

（注2）:水たばこ/受託製造を除き、Fine cut/ Cigar/Pipe/Snus込み

国内JT製品データ集

（注）: 表中の数値には中国、香港、マカオ市場および国内免税市場販売分は含まれておりません。

国内たばこ事業関連係数

1. 四半期別販売数量

（単位:億本）

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2011年度	184	325	300	275	1,084
2012年度	294	302	298	268	1,162
2013年度	293	303	301	304	1,201

2. 四半期別定価代金

（単位:億円）

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2011年度	3,736	6,625	6,100	5,603	22,065
2012年度	5,967	6,129	6,052	5,442	23,589
2013年度	5,933	6,141	6,085	6,156	24,315

（注）: 販売定価代金 ＝ 販売数量 × 小売定価

3. 四半期別千本当税抜売上高 / 千本当売上収益

（単位:円）

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2011年度	5,444	5,516	5,509	5,515	5,502
2012年度	5,508	5,505	5,499	5,498	5,503
2013年度	5,491	5,485	5,481	5,483	5,485

（注）: 本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。
千本当税抜売上高/千本当売上収益＝｛販売定価代金－販売店マージン－消費税－たばこ税（国税）－たばこ税（地方税）－たばこ特別税（国税）｝／ 販売数量 ×1,000

4. 四半期別シェア

（単位:%）

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2011年度	40.8	59.3	58.7	59.2	54.9
2012年度	59.4	59.7	59.6	59.5	59.6
2013年度	60.5	60.7	61.1	61.5	61.0

伸張セグメントシェア

1. 四半期別タール1mgセグメントシェア

①JT タール1mg製品市場シェア （単位:%）

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2011年度	9.8	14.1	14.1	14.3	13.2
2012年度	14.4	14.2	14.3	14.4	14.3
2013年度	14.7	14.7	14.7	14.8	14.7

②1mg市場シェア （単位:%）

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2011年度	24.7	23.9	24.1	24.4	24.3
2012年度	24.5	24.2	24.4	24.5	24.4
2013年度	24.5	24.5	24.4	24.6	24.5

③セグメント内シェア （単位:%）

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2011年度	39.6	58.8	58.5	58.7	54.2
2012年度	58.8	58.7	58.6	58.8	58.7
2013年度	60.0	59.9	60.3	60.3	60.1

2. 四半期別メンソールセグメントシェア

①JT メンソール製品市場シェア （単位:%）

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2011年度	3.2	6.3	6.6	6.9	5.8
2012年度	7.5	7.6	7.4	7.7	7.6
2013年度	8.3	8.8	9.0	9.0	8.8

②メンソール市場シェア （単位:%）

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2011年度	26.1	24.2	25.1	25.0	25.1
2012年度	25.6	25.7	25.6	26.2	25.8
2013年度	26.3	26.3	26.4	26.1	26.3

③セグメント内シェア （単位:%）

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2011年度	12.4	26.2	26.4	27.5	23.2
2012年度	29.3	29.4	28.9	29.6	29.3
2013年度	31.6	33.4	34.0	34.4	33.4

3. 四半期別440円以上製品セグメントシェア

①JT 440円以上製品市場シェア （単位:%）

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2011年度	8.1	15.1	14.9	14.8	13.4
2012年度	14.7	14.8	14.5	14.5	14.6
2013年度	14.5	14.4	14.7	14.7	14.6

②440円以上市場シェア （単位:%）

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2011年度	37.6	36.4	37.0	36.6	36.9
2012年度	36.6	36.9	39.5	36.6	36.7
2013年度	36.1	35.9	36.0	35.9	36.0

③セグメント内シェア （単位:%）

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2011年度	21.5	41.3	40.2	40.4	36.2
2012年度	40.1	40.2	36.7	39.7	39.9
2013年度	40.1	40.1	40.8	41.0	40.5

医薬事業　臨床開発品目一覧 （2014年4月24日現在）

＜自社開発品＞

開発番号 （一般名）	想定する 適応症/剤形	作用機序		開発段階	備考
JTK-303 (elvitegravir)	HIV感染症 /経口	インテグラーゼ阻害	HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	**単剤** 国内：申請準備中	自社品
				新規配合錠 （elvitegravir/cobicistat/emtricitabine/tenofovir alafenamide） 国内：Phase3 国際共同治験*	Elvitegravirは自社品 他3成分は導入品 （Gilead Sciences社）
JTT-851	2型糖尿病 /経口	GPR40作動	グルコース依存的にインスリン分泌を促進し、高血糖を是正する	国内：Phase2 海外：Phase2	自社品
JTZ-951	腎性貧血 /経口	HIF-PHD阻害	HIF-PHDを阻害することにより、造血刺激ホルモンであるエリスロポエチンの産生を促し、赤血球を増加させる	国内：Phase2 海外：Phase1	自社品
JTE-051	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	ITK阻害	免疫反応に関与しているT細胞を活性化するシグナルを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	海外：Phase1	自社品
JTE-052	自己免疫・アレルギー疾患 /経口・外用	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	国内：Phase1	自社品
JTE-151	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	RORγアンタゴニスト	Th17細胞の活性化に中心的な役割を担うRORγを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	海外：Phase1	自社品
JTE-350 ** （ヒスタミン二塩酸塩）	アレルギー皮膚テスト実施時の陽性コントロール/注射剤	ヒスタミン受容体アゴニスト	皮内のヒスタミン受容体に作用し、検査部位の皮膚に膨疹および発赤反応を誘発させる	国内：申請準備中	導入品 （ALK社） 鳥居薬品と共同開発
JTT-251	2型糖尿病 /経口	PDHK阻害	糖代謝に関与するピルビン酸脱水素酵素（PDH）を活性化し、高血糖を是正する	海外：Phase1	自社品

（注）開発段階の表記は投薬開始を基準とする

*Gilead Sciences社の国際共同治験に参画

**厚生労働省主催の「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」において開発企業の募集が行われた品目

＜導出品＞

一般名等 （当社開発番号）	導出先	作用機序		備考
elvitegravir （JTK-303）	Gilead Sciences社	インテグラーゼ阻害	HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	（適応：HIV感染症） **単剤** 米国　申請中 **新規配合錠** （elvitegravir/cobicistat/emtricitabine/tenofovir alafenamide） Phase3
trametinib	GlaxoSmithKline社	MEK阻害	細胞増殖シグナル伝達経路に存在するリン酸化酵素MEKの働きを阻害することにより、細胞増殖を抑制する	（適応：メラノーマ） 欧州　申請中
抗ICOS抗体	MedImmune社	ICOSアンタゴニスト	T細胞の活性化に関与しているICOSの働きを阻害し、免疫反応を抑制する	

前回公表時（2014年1月30日）からの変更点

＜自社開発品＞
・JTT-251　新規臨床入り（海外Phase1）
・JTE-052　想定する剤形の追加（外用）
・JTE-350　申請準備中へ移行

＜導出品＞
・MEK阻害剤trametinib/dabrafenib併用療法（メラノーマ適応）につき、GSK社が欧州医薬品庁(EMA)への申請取下げを公表（2014年3月26日）